

# 南窓

No. 64



南山<sub>中</sub>高等 学校男子部生徒自治会

# 「南窓」六十四号 目次

## 高等学校の部

### 前期生徒自治会活動報告

生徒自治会 会長	長谷部 優 (高一A)	J 2 A	21
生徒自治会 副会長	山下 空馬 (高一B)	J 2 B	22
生徒自治会 会計兼庶務	宮部 尊 (高一C)	J 2 C	23
生徒自治会 書記	椿山 隼司 (高一D)	J 2 D	24
風紀厚生委員長	鷺野 友哉 (高一B)	J 3 B	25
文化委員長	松田 悠希 (高一B)	J 3 B	26
体育委員長	長江 遼真 (高一D)	J 3 D	27
生徒自治会 議長	西森 涼真 (高一C)	J 3 C	28

## 文化祭

文化祭実行委員長	横山 和樹 (高一A)	S 1 A	9
文化祭実行副委員長	小林 瞭太 (高一E)	S 1 E	10
中学高校展示パトリーダ	名畑 潤一 (高一D)	S 1 D	11
部活・有志展示パトリーダ	松下 陽葵 (高一B)	S 2 B	12
舞台パトリーダ	田中 拓登 (高一C)	S 2 C	13
受付・案内パトリーダ	長谷部 優 (高一A)	S 2 A	14
装飾パトリーダ	須藤 晃成 (高一E)	S 2 E	15
情報システムパトリーダ	山下 空馬 (高一D)	S 2 D	16
広報パトリーダ	河合 俊輔 (高一C)	S 2 C	17
模擬店パトリーダ	山田 光優 (高一E)	S 2 E	19
物販パトリーダ	藤原 迅音 (高一C)	S 2 C	20

## クラス展示

滝 英孝 (中二A)	21
杉原 文崇 (中二B)	22
村上 慶舟 (中二C)	23
住友 大誠 (中二D)	24
小栗 瑠実奈 (中二E)	25
大橋 了也 (中三A)	26
横山 春尊 (中三B)	27
潘 世博 (中三C)	28
國貞 海舟 (中三D)	29
野垣 誠仁 (中三E)	30
田川 陽都 (高一A)	31
北川 友太 (高一B)	32
馬島 光輝 (高一C)	33
小久保 聡太 (高一D)	34
平原 昊 (高一E)	35
坂川 大介 (高一A)	36
吉川 宗佑 (高一B)	37
坂井 宗翔 (高一C)	38
一戸 皇希 (高一D)	39
冬木 正陽 (高一E)	40

**部展示**

- アマチュア無線同好会
- 英語部
- 奇術部
- 写真部
- 将棋部
- PC同好会
- 美術同好会
- 理科部生物班
- 理科部地質班
- 理科部天文班
- 歴史研究同好会

井俣	大島	垣見	竹内	山内	菅沼	高田	大島	島崎	中村	潘
颯斗	彬暢	一颯	颯汰	成央	純賢	啓登	健翔	琉生	世博	
(高一A)	(高一C)	(高一D)	(高一C)	(高一C)	(高一A)	(高一B)	(高一D)	(高一B)	(中二C)	
51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41

**有志展示**

- Burning Amp
- 初代 VR-Game-Maker
- 緑鳥
- 鉄道研究会
- 高二有志展示
- サンダバ
- とある高校生が演劇してみた
- 高2有志謎解き

冬木	長江	古田	長谷部	浅野	浦田	山本	高谷
正陽	遼真	智也	優	蒼太	征治	修士	俊哉
(高一E)	(高一D)	(高一B)	(高一A)	(高一D)	(中二E)	(中二A)	(中二D)
59	58	57	56	55	54	53	52

**舞台**

- プラスバンド部
- 奇術部
- 演劇同好会
- DANDY STREET
- Ensemble Harmonia

坂井	中島	横山	島崎	黒川
映亮	凜軌	春尊	健翔	翔太
(高二E)	(高一B)	(中二B)	(中二D)	(高一A)
64	63	62	61	60

**有志演奏**

- OURHANDS
- significant
- Unconditional
- Nexus

澤田	水谷	古田	河合
怜来	凌万	智也	俊輔
(高一B)	(高一E)	(高一B)	(高一C)
65	66	67	68

**模擬店**

- J3A・C
- J3B
- J3E
- S1B
- S1C
- S1D
- S2B
- S2有志
- S3A・B有志

長谷川	根崎	浦田	佐渡	高橋	小久保	佐藤	川口	平野
脩真	奏良	征治	奏太	悠太	聡太	史隆	雄裕	晃士朗
(中三A)	(中三B)	(中三E)	(高一B)	(高一C)	(高一D)	(高一B)	(高一E)	(高二B)
70	71	72	73	74	75	76	77	78

**後期生徒自治会活動報告**

生徒自治会 会長	生徒自治会 副会長	生徒自治会 書記	生徒自治会 書紀兼会計	SEITOKAI NEWS-FLASH	風紀厚生委員長	文化委員長	体育委員長	生徒自治会 議長
中村	小澤	田中	持永	大西	山田	近藤	坂井	
琉生	僚太	伸之輔	壮志	康貴	光優	拓海	翔	
(高一B)	(高一D)	(高一C)	(高一A)	(高一B)	(高一E)	(高一B)	(高一C)	
79	80	81	82	83	85	86	87	88

## 中学校の部

### 前期生徒自治会活動報告

生徒自治会 会長	立野 瑛翔 (中三B)	98
生徒自治会 副会長	早川 健 (中三D)	90
生徒自治会 書記	野平 淳晴 (中三C)	91
生徒会自治会 書記兼会計	磯部 誠志郎 (中三D)	92
生徒自治会 庶務	河野 凜人 (中三A)	93
風紀厚生委員長	伊藤 悠 (中三C)	94
文化委員長	橋本 悠杜 (中三E)	95
体育委員長	柿崎 陸玖 (中三E)	96
生徒自治会 議長	根崎 奏良 (中三B)	97

### 後期生徒自治会活動報告

生徒自治会 会長	立野 瑛翔 (中三B)	98
生徒自治会 副会長	根崎 奏良 (中三B)	99
生徒自治会 書記	木下 莉仁 (中三B)	100
生徒会自治会 書記兼会計	磯部 誠志郎 (中三D)	101
生徒自治会 庶務	早川 健 (中三D)	102
風紀厚生委員長	伊藤 悠 (中三C)	103
文化委員長	橋本 悠杜 (中三E)	104
体育委員長	柿崎 陸玖 (中三E)	105
生徒自治会 議長	本郷 智久 (中三B)	106

### 自由投稿

南窓寄稿	吉田 龍太 (高三A)	112
人生初のボーカル体験	中村 琉生 (高二B)	114
広島と長崎を訪れて	谷口 慶和 (中三B)	116

### 表紙

「夜桜の光廊」

岩井 奏 (高一C)

# 高等学校の部

## 前期生徒自治会活動報告

### 前期生徒会 活動報告

生徒自治会会長 高二A 長谷部 優

前期生徒会長として、「定期考査の時間割発表の前倒し」、「実力考査の廃止」「Teamsチャット機能の解放」を公約に掲げて当選しましたが、スケジュールや僕たち執行部の都合により、定期考査とTeamsの2つの公約は達成にすることはできませんでした。僕たちに信任して投票してくれた生徒の皆さんには申し訳ないと思っています。

前期生徒会では実力考査の廃止に関して取り組みました。実力考査翌日の、9月4日に高校1年生、高校2年生を対象とした実力考査に関するアンケート

を実施し、執行部内や議会で出た意見をもとに実力考査の廃止について要望書を作成しました。この窓の原稿を書いている現時点ではまだ進路部の先生との調整ができていないのですが、要望書はすでに議会で可決されているので、今後は先生方の中で来年度以降の実力考査に関しては協議されるものと思います。1つの公約についてある程度目途をつけることができたことはよかったです。

最後に、僕たちへ信任して投票してくれた生徒の皆さん、半年弱支えてくれた執行部の仲間、議員の

皆、そして様々な面で指導していただいた植田先生に感謝します。ありがとうございます。

## 生徒会副会長 活動報告

生徒自治会副会長 高二B 山下 空馬

前期の生徒会副会長を務めて、様々な活動を行ってきました。最も注力したのは「実力考査の廃止」に向けた取り組みです。生徒の声を丁寧に集約し、学習環境の改善を目指して学校側へ具体的な提案と交渉を重ねました。この努力を通じて、生徒自治の可能性を強く示すことができたかと確信しております。

ます。また、議会では公約実現のために、議員や各委員長と密接な関係を築くことができましたと感じています。私だけでは成し遂げられなかったこともたくさんあります。議員や執行部の皆さん、ありがとうございました。

# 会計・庶務活動報告

生徒自治会会計・庶務 高二C 宮部 尊

自分は今期生徒会で会計兼庶務として活動しました。自分は実力考査の廃止に向けて橋本先生と話し合いをしたり、要望書を書きました。まず橋本先生と話し合うことで、実力考査のデメリットとして自分たちが挙げていた先生たちの負担などが実際あまりないことを知ることができました。それを踏まえて、自分の受験に関係のある科目に絞って実力考査で受験するなどの折衷案を盛り込んで要望書を書きました。今期生徒会の目標である実

力考査の廃止にまでは至りませんでした。が、要望書の提出をすることができて良かったです。また

廃止に至るまでやり切ることができなかったことが次回への反省点として挙げられます。主な理由は煩雑な手続きや先生との話し合いの時間があまり設けられなかったため時間が足りなかったことだと考えています。後期生徒会は任期が前期に比べて短いですが、ぜひ自分がやり残したこの仕事をやり遂げて欲しいです。

# 割り振られた仕事をするだけでいいということの楽しさ

生徒自治会書記 高二D 椿山 隼司

私は書記として議会で何をしたかを記録として残す議事録を書き、各委員会の議事録を回収し進度の確認、議事録の保管をして来ました。ですがこれらの仕事は私が自分から始めたわけではなく、校則にかかっているためであり最低限の仕事にすぎません。また前期は高校生徒会が主催するイベントがなかったので僕は上記の仕事しませんでした。このように私は基本的に受動的で割り振られた仕事しかできませんし、そもそも自分で何が足りていないのかを考えそのために行動する「行動力」がありません。こんな私を捨てずに最後まで

引っ張ってくださった植田先生と執行部のメンバーには感謝しかありませんし、書記として働くことで得れた経験を大事にこれから生きていきたいと思います。またこれから会長などの上立つ側になる人がうまく人を動かせ、より良い南山生活を実現できることを祈っています。

# 高校風紀厚生委員会 活動報

風紀厚生委員長 高二B 鷺野 友哉

私は風紀厚生委員会の委員長として、学校生活をより快適で過ごしやすいものにするための活動に取り組みました。主な活動としては、校内の美化意識を高めるためのポスター製作と、部室棟周辺の清掃を行いました。ポスター製作では、委員全員でテーマやデザインを話し合い、学校全体に呼びかけられるようなわかりやすい表現を工夫しました。また、部室棟の清掃では、限られた時間の中で

最後までやり遂げることができました。協力してくれた委員や支えてくださった先生方に心から感謝申し上げます。

効率よく作業を進めるため、班を分けて役割を明確にし、協力して取り組みました。活動を進める中で、先生方や委員の協力があったからこそ、計画を

# 前期高校文化委員会活動報告

文化委員長 高二B 松田 悠希

高校文化委員長を務めさせていただいた松田悠希です。

文化委員会では文化祭の舞台企画でクイズ大会をすることとをさせていただきました。中学の時から文化委員会に何度も所属していたのですが、舞台企画を行うことはこれが初めてで、楽しみであった一方、不安も大きかったです。クイズの問題はどうするのか、そもそも応募者が集まるのかという懸念点もあった中で、尽力してくれた文化委員の子たち、先生方、舞台パートの方々、出場してくれた方々に感謝申し上げます。

また、南窓を発送するための作業など、僕がこれまで知らなかった文化委員会の仕事なども経験できてうれしく思います。文化委員会の仕事の魅力も再発見することができました。

いろんな活動ができたのも昼放課に集まってくれた文化委員会の子たち、先生方の協力があってからこそだと思っています。半年という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

# 体育祭の為の準備

体育委員長 高二D 長江 遼真

前期の体育委員の仕事は主に体育祭に向けての  
種目決めです。今回はいつもの競技ではなく、ビー  
チフラッグなどの少し変わった競技を採用しまし  
た。そして、体育祭前日、体育委員全員、そしてボラ  
ンティアで友達が手伝ってくれたおかげでなんと

もいるはずです。それでも最後まで全力で頑張っ  
てくれた体育委員の皆には感謝でいっぱいです。  
体育委員と高校の全先生方、本当にありがとうございます。

か終わらせる事が出来ました。いよいよ体育祭当  
日、思っていたより、競技が多く時間が無くなって  
しまい、急に棒引きが無くなってしまいました。が、  
なんとか成功でき、高校三年生の思い出になれば  
とても幸いだと思います。体育委員はあまり人気  
が無く、中にはジャン負けで決まったという生徒

# 議長活動報告

生徒自治会議長 高二C 西森 涼真

前期学校議会では議長として議事進行の管理や発言の調整を行い、公平で円滑な討議を支えました。生徒会との連携を図りつつ意見を整理し、議会をより良いほうに進めるため頑張り良い学校づくりに向けた議会活動を促進しました。

自分が議長としてできなかったことは何度か生徒会が議案の説明をしているときヤジを飛ばされて話が止まってしまふことがあります。それが止められませんでした。自分としてはもう少ししっかりと発言を止めるべきでした。

自分は議長として働きましたが学校をより良い

ほうに導くことができる議会は楽しいと思うので後輩たちにはこれからも議会で頑張ってもらいたいです。

# 文化祭

## 飛翔祭を終えて

文化祭実行委員長 高二A 横山 和樹

僕が文化祭実行委員会と出会ったのは中学3年生の時でした。それから2年間本部で活動し、今年度は実行委員長として飛翔祭の運営に携わることができました。

ただきました。会場全体が一体となって盛り上がりたあの瞬間は忘れられません。

リーダーとして意識したのは、『チーム内での情報共有と協力体制の強化』です。どんな仕事にも積極的に

た時は、感極まって大号泣してしまいました。それでも、みんなの温かい声援に支えられ、感謝の気持ちを伝えることができました。

に参加し、各パートが円滑に進むよう常に気を配りました。その結果、多くの仲間や先生方の支えを受けながら、無事に飛翔祭を成功させることができました。

この飛翔祭を通して、南山男子部の魅力を改めて実感しました。仲間思いで、ノリが良く、何事にも全力で取り組む。そんな素晴らしい学校で実行委員長を務められたことを誇りに思います。関わってくだ

一番印象に残っているのは前日祭です。オープニング動画やダンス動画では、多くの先生方にご協力的

さったすべての方々に、心から感謝します。

# 僕の青春、飛翔祭

文化祭実行副委員長 高二E 小林 瞭太

1年前の11月、副実行委員長としての仕事が始

まった。当選直後から公約実現に向けて動き出し、

5月に行われた決起集会で大いに盛り上がったあと、夏休み、前夜祭、そして飛翔祭当日まで全力で走り抜けた日々は本当にあつという間だった。

今年度、僕が特に力を入れたのは、南山生に向けての情報共有と校外への広報活動だ。飛翔祭公式アカウントへの投稿の仕事を任せてもらい、短くても正確に伝わる文章と、思わず次へスクロールしたくなる写真を意識して発信し続けた。他にも、実行委員会の活動をよく知ってもらうために、新たな試み

として「飛翔祭通信」を全部で10号発行した。

たくさんの方の支えで飛翔祭は大成功に終わった。それぞれの分野で最高のパフォーマンスをしてくれた優秀なパートリーダーたち、僕たちを信頼して見守ってくれていた先生方、そして南山の誇りであるクラス企画、部活企画、有志企画、模擬店に全力を注いでくれた南山生たち、全員に心から感謝している。そして、中3の時から実行委員メンバーとして共に歩んできた横山和樹。閉会式のあの景色を見るために、これまで一緒にやってこれて本当によかった。ありがとう。この飛翔祭こそ、僕の青春です。

# 飛翔祭を終えて

中学展示パートリーダー 高一D 名畑潤一

今回、私は初めて文化祭実行委員として活動しました。もともと中学生の頃からクラス展示を作ることが好きだったため、展示に関わる仕事を担当させてもらいました。主な仕事内容は、文化祭展示に関する物品配布・アドバイス・オリエンテーションの実施です。

物品配布（ペイント用品など）では、前回の文化祭で「欲しかったもの」「足りなかったもの」をアンケートで調査し、その結果をもとにより充実した展示用品を配布できるよう工夫しました。

オリエンテーションでは、展示において守ってほしいルールや当日までの流れを説明することで、

各団体がスムーズに準備・片付けを進められるようにしました。

また、アドバイス面では、文化祭の経験が浅い中学のクラスを対象に2回、展示責任者との面談を行いました。この面談を通して、各団体が頭の中で思い描いている展示のイメージを具体化でき、装飾や企画内容の向上につながったと思います。

このように、多くのクラス展示に関わり、全体として展示の質の向上に貢献できたことに大きなやりがいを感じました。

1年間、一緒に活動し、支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

# 自分で考えて行動することの大切さ

部活・有志展示パトリリーダー 高二B 松下 陽葵

今年度、部活有志展示のリーダーを務めながら、自分で考えて行動するという最も基本的な責任を果たせなかったことを、まず深くお詫び申し上げます。企画調整や作業の管理など、本来リーダーである僕が担うべき部分があったにもかかわらず、僕から主体的に考えて動こうとしませんでした。その結果、実行委員長である横山くんや副実行委員長である小林くんに与えられた仕事しかせず、ただでさえ忙しい彼らにとって余分な仕事を増やす事になってしまいました。このような僕自身の未熟さが彼らの活動の質を下げる直接の原因と

なってしまうと僕はおもいます。それでも、彼ら含め周囲のメンバーは僕の不足を責めることなく、むしろ足りない部分を互いに補い合いながら取り組んでくれました。自分の至らなさを痛感する中で、仲間の支えがどれほど大きかったか、言葉では言い尽くせません。今回の経験は、主体的に動く覚悟が欠けていた自分への厳しい気づきとなりました。この反省と感謝を胸に、今後は責任ある行動を徹底し、周囲に迷惑をかけないだけでなく、支えになれる存在を目指していきます。

# 舞台パートリーダー活動報告

舞台パートリーダー 高二C 田中 拓登

私は飛翔際で文化祭実行委員の舞台パートリーダーとして活動しました。準備期間には、各団体との調整や機材配置の確認、タイムテーブル作成など、多くの作業に追われましたが、副リーダーが常に支えてくれたことで、負担が大きい場面でも前向きに取り組むことができました。また、専門的な知識が必要な場面では、先生方が的確な指示をくださり、私たちが出演者とのやりとりやで機材の処理などで迷った際の心強い支えとなりました。パートメンバーも、自主的に動き、リハーサルや本番で起こる細かなトラブルに素早く対応してくれ、出

演者の方々もこちら側が至らないところがあっても丁寧に対応してくれたので、それも舞台パート全体の支えとなつらと思います。文化祭当日は緊張の連続だったが、全員が役割を果たし、私が見ていない時でも、副リーダーが舞台を指揮し、無事に全演目を成功させることができました。舞台袖で観客の拍手を聞いたとき、この経験が自分にとって大きな成長につながったことを実感しました。

# 頼りになった同級生・後輩への最大限の感謝を

受付案内パートリーダー 高二A 長谷部 優

僕は今年、文化祭実行委員としては2年目ながら、受付案内パートリーダーを務めました。

受付案内パートとしては、当日の来場者の方への案内、挨拶、パンフレットの手渡しを行いました。

基本的に受付案内パートのメンバーとしての仕事は先に記した通り当日ですが、パートリーダーの僕は校内の掲示物とデジタルサイネージの作成も行いました。さぼりがちな僕に、実行委員長横山くんが定期的に進捗の確認をしてくれたり、デジタルサイネージの面倒な作業に協力してくれたりして、とても助かりました。彼がいなかったら、僕は仕事を終えられなかったかもしれません。本当

に感謝しています。

また、受付案内パートリーダーとしての仕事ではありませんが、前日際のクイズ企画、閉会式の結果発表のスライド作成にも携わりました。ここでも何度も横山くんに助けられました。

例年に比べて多くの人数が参加してくれた中1、そして、中2から高2のパートメンバーたちが、皆素晴らしい働きを見せてくれました。来年以降の受付案内パートにも期待しています。そして、支えてくれた先生がた、実行委員のみんな、パートに関わってくれたすべての人に感謝を示したいです。ありがとうございました。

# All for one

装飾パートリーダー 高二E 須藤 晃成

私は装飾パートのリーダーを務めました。今年の装飾パートは、同級生、下級生を含め30人弱の大規模なパートとなりました。パートの仕事としては、門の装飾、カウントダウンボード、横断幕、階段アートの制作を行いました。そして今年は新しい試みとして南山生に向けての提灯のワークショップを開催しました。最終的に、メンバー皆で作り上げたものが形となり、リーダーとしては嬉しい限りです。

パートの仕事は、副パートリーダーの三浦と役割分担をし、欠かさず作業の状況をメンバーに伝えることが作業を円滑に進めることができました。時には私の

拙い情報伝達によりメンバーに迷惑をかけることもありました。みんな最後までついてきてくれました。

紆余曲折があっても最終的にその努力が実り形づくられていく、皆が一つの目標に向かって頑張る姿に感動しました。これは装飾パートだけでなくクラスや部の展示企画、ひいては文化祭全体にも言えると思います。

最後に、パートナーとなり苦楽を共にした副リーダーの三浦、多くの助け舟を出してくださった水野先生、一丸となってくれたパートメンバー、そしてそれを陰で見守ってくれた実行委員会や、生徒方、先生方、本当にありがとうございました。

# 情報システムパート 活動報告

情報システムパートリーダー 高二D 山下 空馬

情報システムパートは今年度から発足した「飛翔祭」のシステムの部分に携わるパートです。具休例を挙げると、ホームページ。ポスターを制作する広報パートが飛翔祭の顔とするならば、情報システムパートリーダーはオンライン上での顔を担当しています。私は情報システムパートリーダーとして情報システムパートを動かしてきましたが、私にはしつかりとしたホームページを最後まで完成させる力はありません。メンバー一人一人に役割を与え、それぞれの強みを生かしながら主体的に行動できるようなパートづくりを心掛けました。

ホームページを作るといっても一概にコードを書けば完成ではなく、しつかりとしたデザインを固めたうえでコーディングしていくのが大切です。コーディングも環境が整っているかどうかで完成形への道筋が全く異なります。私はメンバーのスキルに応じて役割を当て、メンバが全力を出せるような環境を構築することに力を費やしました。結果的に全員が主体的に作業ができ、良いサイトが完成したと思います。本当にありがとうございます。

## 歓声と涙と実行委員会

広報パートリーダー 高二C 河合 俊輔

広報パートはパートリーダー、副パートリーダーの2人からなる非常に小規模なパートです。

しかし、やらなければいけない事とその責任は他のパートと比べてもトップクラスに大変なパートでした。広報パートはSNS運用、名札・ポスター・パンフレットの制作、決起集会、前日祭、閉会式で流す映像の担当をしました。私がこの中で最も印象に残っているのがパンフレットの制作と映像の制作です。まずパンフレットは、昨年の物は非常に質が良く、私自身プレッシャーと責任を感じていました。夏休み後半、アイデアがなかなか浮

かばずいろいろと悩み刻々と納期が近づいてきました。ですが実行委員長横山くん、受付案内パートの長谷部くんを中心とした実行委員会のメンバーが夜遅くまで通話に付き合ってくれたり、アドバイスをくれたりして、なんとか完成させることが出来ました。本当に感謝しています。なかなかいいものができたと思います。次に映像の制作ですが特に前日祭は準備にかなりの時間と労力をさきました。他のパートの人にも協力してもらい様々な映像を撮ってきて貰いました。あまり協力してくれるイメージがない先生の撮影にも成功し

てくれました。前日祭は大盛り上がりでみんな良かったと大絶賛を頂きました。撮影に協力してくださった先生方、ありがとうございます。そして閉会式、もともと私の仕事はありませんでした。ですが、「絶対泣かない」と豪語していた実行委員長を泣かせようとこつそりとサブライズ映像を企画・制作しました。

受付案内パートの長谷部くん、舞台パートの田中くんとも協力し、閉会式の最後の最後に実行委員会のこれまでをまとめた1分ほどの映像を流しました。実行委員長はめっちゃくちゃ泣いてくれました。あの瞬間は絶対に忘れません。もらい泣きした、という生徒や先生が多数おり、南山男子部という学校の温かさを改めて実感しました。

約1年間活動してきましたが、いつも実行委員長をはじめとした実行委員会のメンバーや先生方

が協力してくれました。ありがとうございます。このメンバーで活動することがもうないかもしれないと思うと寂しいですが、この経験を将来に必ず生かします。

最後に、パンフレットだけは大切に保管してください、よろしくお願いします。

# 仕事とは？

模擬店パートリーダー 高二E 山田 光優

僕は、模擬店パートリーダーを務めました。今年度からキャッシュレス決済の導入や会場内での音楽の放送を行い、文化祭前日は、資材の移動や前日まで知らされていなかったポスター作成、予定していなかった物品の搬入もあり、大忙しでした。仕事を手伝ってくれた副パートリーダーの子とパートメンバーには感謝しかありません。文化祭当日、周回をされていた先生の指摘を受け一部団体に注意をすると罵倒されたり、二日目の朝学校にくるとテンションが倒壊していたり、パートメンバーの半分が無断でシフトに来なかつたり、本当に今するべきなの

かよく分からない仕事を指示されることもありましたが、副パートリーダーや長時間シフトに入ってくれたパートメンバーのおかげで運営をすることができました。僕はこの模擬店パートリーダーの仕事を通して、自分で物事を判断する力と仲間の大切さを知りました。最後に、模擬店パートを運営するにあたって尽力してくださった先生方、実行委員長、副実行委員長、副パートリーダーの子、パートメンバーに感謝の気持ちを伝えたいです。

# 新たなものを生み出す努力

物販パートリーダー 高二C 藤原 迅音

物販パートの活動は、販売物のアイデアを出し合う楽しい時間から始まりました。定番の缶バッジやクリアファイルに加え、今年は新たにサイリウムを販売したいという意見で一致しました。しかし、安全面やポイ捨ての問題から先生方の許可が下りず、何度も話し合う日々が続きました。諦めずに交渉を重ねた結果、限定販売という形で実現できたときの喜びは、今でも鮮明に覚えています。

夏休みにはメンバー全員で集まり、シール貼りやデザイン決定に夢中になり、教室にはいつも笑い声が響いていました。誰かが疲れると自然に声をかけ合い、

温かい雰囲気の中で準備を進めることができました。ポスターやシフト表づくりでは、夜遅くまで親が手伝ってくれ、その支えの大きさを改めて感じました。

文化祭当日、サイリウムは20分で売り切れ、缶バッジもすべて完売。クリアファイルは一部残りしましたが、全体として黒字となり、努力が形になったことが嬉しかったです。今回、意見がぶつかっても信じ合い、支え合ってやり遂げた仲間との絆、そして家族の支えがあったからこそ乗り越えられたと思います。仲間の笑顔と家族の優しさを胸に、これからも前向きに挑戦を続けていきたいです。

# クラス展示

## 「AI vs 人間」人間はAIを越えられるのか」活動報告

中二A 滝 英孝

中二Aは「AI」を用いたAIとのクイズの企画でした。昨今、ニュースや新聞、SNSで「AI」という言葉を聞かない日がないぐらいの世の中になっていきます。そこで、ぼくは「AI」をテーマにした企画にしようと考えました。

展示内容は、はじめにAIとのアキネーター型のクイズ対決をし、その後AIとのなぞなぞを対決をし、最後にシルエットクイズをやり、点数を他の参加者と競うというようなものでした。

しかし、企画当初は問題が多く、本来4台使う予定だった電子黒板が1台になってしまったなかAIはど

のように使うのか・アキネーターやなぞなぞ、特にシルエットクイズの問題をどのように作成するのか等の問題がありました。すると、クラスメイトが率先して動いてくれ、AIをどのように使うのかについては1台の電子黒板とAI役の人を導入し足りない電子黒板の分を補えるようにできました。また、シルエットクイズの問題をどのように作成するのかについてはクラスメイトの一人がとても頑張ってくれ、無事完成させることができました。

賞をとることはできませんでしたが、クラスで丸となって取り組むことができ、良い経験になりました。

# リーダーじゃなくても

中二B 杉原 文崇

2学期が始まり、どのクラスも文化祭に向けて気持ちが高まっている中、僕のクラスでも話し合いは進んでいた。皆が切磋琢磨して意見を出し合い、「リアル人生ゲーム」という案に決まった。

企画が決まり、いざ作業となった時、早速、僕は部活の関係でその活動に行けなかった。大丈夫かなと思いき、隙間時間などに覗きに行ったりしたが、皆、目を見張るほど頑張ってくれていて、僕の代わりにある子が士気をとってくれていた。僕はその時、安心と申し訳なさの二つの気持ちが込み上げてきた。他にもパート毎に分かれ、そのリーダーと

して人々をまとめてくれている人もたくさんいた。そんなこんなで、無事作業は進み、文化祭本番では大盛況で、中学部部門「アカデミック賞」銅賞を取れたことは、この上ない嬉しさだった。

最後に僕は、「リーダーは1人ではなく、その姿勢を持つ人は全員リーダーだ」と学んだ。僕も皆の積極的な姿勢を見習い、来年からの文化祭、そして己の人生に活かしていきたいと思う。

## この教室を最高の作品へ

中二C 村上 慶舟

ある日のホームルーム、文化祭の出し物について話し合いました。その日から僕は興奮が収まらず、クラスラインで内容について話し合いました。夏休み、思ったよりも人が集まらず、焦りだけがたまりました。ほかのクラスとの差に悔しくなっている自分がありました。「無理かも、」と思ったときはたくさんありましたが、教室で作業をしている仲間を見て、代表の俺が迷っていたら進まない、そう思っって気持ちが変わりました。

迎えた本番、あの緊張は忘れられない新しいものでした。1日目に来てくださったお客さんや先

生方に感想を聞き、修正できるところを修正しました。そして2日目、何と1日目に来てくださったお客さんの2倍の方が来てくださいました。

「楽しかったよ」そういつてくれる方が多くとても嬉しかったです。文化祭が終わって片付けをしました。本当に終わったんだ、とあらためて感じました。みんなと作業をしたあの夏、片づけたら、最高の夏の終わりを告げるような気がしました。

最後に、クラス通信にあった感動の一句を。

ゴミの山 つはものどもが 夢のあと

最後まで支えてくれた仲間たち、本当にありがとう。

# D-SPORTS

中二D 住友 大誠

僕たち中二D組では、「D-SPORTS」という企画名で「宇宙」をテーマに、無常力でのスポーツを体験してもらいました。

準備期間では来ない人がいたり、集まりが悪かったり、中々進まずに焦って適当になったりすることも多く、初めてのこともあり正直になりすぎた部分が多々ありました。適当さが表に出ることが何よりもいけない事だと思い、無鉄砲に「やってみる」のではなく、構図や選色、切り方など、下書きを書いたり余ったダンボールの切れ端などに試してみたりして慎重に、けれども本番は「早く丁寧」に

を心掛け作業をしていました。

当日もたくさんのお客さんが来て、緊張する場面もあったものの、元からある明るさとやる気で乗り切ることができました。

# ミニバーサル・スタジオ・ナンダン

中二E 小栗 瑠実奈

クラス内投票で自分の出し物に決まった二日後、最初のオリエンテーションがあり、高校生の先輩方から文化祭の注意事項などを教わった。その後、クラス内で実行委員を決め、ゲームの作り方を話し合い、計画を練り続けた。

企画面談では、思い描いていた内容をすべて先輩方に伝え、多くのアドバイスをもらった。第二回定期考査が終わると、実技のオリエンテーションがあり、ダンボールのつるし方などを教わった。夏休み三日前にはメンバーと買い出しに行き、必要なものをそろえた。準備は万端だった。

そこからは作業の毎日が続いた。計画が大きく変わることもあったが、「文化祭を成功させたい」という気持ちで頑張った。文化祭が近づくにつれ、遅くまで残って作業する人が増え、感謝の気持ちでいっぱいだった。前日には三十人以上が残ってくれた。

当日は物が壊れるなどのアクシデントもあったが、多くの方が来てくださり本当に嬉しかった。閉会式で自分たちのクラスが金賞を受賞したとき、舞台から見た景色はこれまでの努力を象徴するかけがえないものだった。ありがとう、J2E。

# 文化祭を終えて

中三A 大橋了也

J3Aでは、マリオの世界観でミニゲームをクリアしながらボスを倒すという企画をやりました。その中で中心となって企画を進めることは難しく、大変であるということを実感しました。

作業では大まかなコンセプト・構造が決まっても、じゃあ結局何を作ってどうしようというところまで詰まってしまうことが多く、とりあえず作ってみて改良していくという形になってしまい、かなり苦労しました。最初の企画段階で自分やほかの人ともっと話し合いたい、細かいところまで決めることができればもっとスムーズに製作ができたのかなあと思いました。

本番ではシフトに入っていた人への伝達ミスで

ルールが予定していたものとは違ったりするなどで一時回転効率がかなり悪くなり、外でかなりの時間お待たせすることになってしまい、これも朝、または前日の時点でもっと共有しておくべきだったなと思いました。

しかし、このようなことを乗り越えた皆さんの方が楽しんでくれ、装飾金賞、総合銅賞を獲得できました。これはクラスの皆、担任の宮本先生など、たくさんの方のおかげで獲得することができました。自分自身も準備・本番とすごく楽しかったし、何より達成感がすごかったです。この経験を大事にして来年以降も飛翔祭を頑張ろうと思いました。

# 週刊文瞬 中学アカデミック賞金賞中三B

中三B 横山 春尊

中三Bは『週刊文瞬』という某週刊誌がモチーフの企画でした。この企画を考えた理由は当時の某週刊誌の影響力とデジタル社会での盗撮や画像流出などの『なぜか問題にならない問題』を記者となり身を持って体験し考えるという学びがあり、何よりインパクトがある展示になると考えたからです。

展示内容としては教室のなかにあるスクープの的をカメラで撮り、その時の合計点数を段階点や最高点で競う物、しかし企画当初は問題が多く、誰のカメラを使うか・盗撮問題・点数計算の面倒くささなど、するとクラスの子が「僕が専用のソフトを作るから学

校のタブレットを使わないか？」と相談を受けすぐに了承。完成した彼のソフトは私の考えていた完成度をはるかに超えており、プログラムが的を学習して実際に撮影しなくともよくなり、得点計算やランダム要素の追加などゲームを快適に・楽しくする要素としてお客さんからも良い評価を頂きました。装飾は教室感をなくすことを重点に新聞紙を教室中に貼り付けたところこれもまた好評でした。

そうして中三Bはお客さんから評価を受け、総合賞銀賞とアカデミック賞金賞を表彰され、とても良いクラス展示になりました！

# バイキング完成への道のり

中三C 潘世博

最初に、一緒にクラスを盛り上げてくれたJ3Cのみんなに感謝したいと思います。支えてくれたクラスのみんな、見守ってくれた担任の原先生ありがとうございました。

夏休み前、HRの短い時間だけで決めてきた「バイキング」というテーマ。いざ夏休みに入ったが裝飾ばかりが進んでく。組み立ててみたはいいが、単管パイプが足りない!!という時に作業に来ていた人が単管パイプや連結材を買いに行ってくれたりしてくれとても助かりました。また、二期が始まり、特に文化祭ウィークになってから色んな人が

毎日作業に来てくれ「心配しなくても進んでいく」と僕は感じました。文化祭当日もクラスには常にメンバーが動いており、頼もしかったです。

最後に後夜祭で来場者票が一番に輝いたときはこの企画やってよかったなと思いつても嬉しかったです。

# J 3 D 活動報告

中三 D 國貞 海舟

今年の展示で意識したことは「計画性」である。それは特に皆のアイデアを集めて早く計画書にまとめることだ。何としても計画を具体化し、やりきることが目標だった。

今回は「脱出ゲーム」が主題であるため、「謎を作る」「内装」という二つがポイントだった。何個作るか、どのような内容かという謎の案、設定に合わせた内装の案とそれぞれ多く生まれたが、クラスメイトと協力し、すばやくまとめることができた。企画の外面をやりきることができたのだ。

ただ、そのことには新たな改善点があった。教室の長さ、支給された道具についてよく調べきれな

かったことだ。せつかくまとまった案もこれらのことで遅らせてしまった。企画の内面が足りなかったのだ。

こうした計画性は、飛翔祭だけでなく、学生生活にも必要である。この経験から目標に向かっての計画の内外面をこれから僕は磨いていきたい。

# Eリーグ J3E

中三E 野垣 誠仁

今年、J3Eのクラス企画はポッチャをやりました。今回初めてポッチャをやりましたが、クラスのみなどと意見を出し合っても満足気の行くものができました。今回のテーマがクレヨンしんちゃんになり、急遽いろいろなものを変更しなければいけなかったのですが、意見を出してくれる人が多くて責任者としてとても助かりました。ポッチャは回転効率がとても速く、お客さんがすぐ遊べるように工夫できました。初日はあまりお客さんが来なかったのですが、二日目になるとクラスの子の呼びかけが響いたのかたくさんのお客さん

が来てくれました。二年連続で責任者という任を請け負いましたが、去年の失敗を今年の展示に生かすことができてとても良かったです。クラスの展示に関わったすべての人に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 南山魔法学校

高一A 田中陽都

僕たちのクラスの企画は南山魔法学校というハリーポッターの世界観を基にしたシューティングゲームというものでした。文化祭では何事もなく運営することができ、来場者の方々にも楽しんでいただけだったので安堵しています。しかし、今回初めて責任者という立場でクラスのみんなを引っ張っていく中で様々な反省点があったと思います。まず一つ目は、なかなかクラスの展示の準備に参加しない人たちに對して強く来るよう言っていたところです。今思い返せば、もう少ししよい言い回しがあり、話し合っていれば、話が、よい方向にかつ円滑に進んで

いたんだらうなと感じました。二つ目は、クラス全体にあまりイメージが共有できていなかったところです。自分は外装のリーダーも兼ねて、準備を進めていたのですが、内装や小物人たちにすべてのイメージを共有できず、外装と内装にコンセプトの差ができてしまったことだと思います。以上の二つの点が今回の文化祭の反省点です。ですが、今回の文化祭を通して、死ぬ気で努力することのやりがい、仲間との絆、代表としての責任感を知り、学ぶことができました。来年の文化祭が最後ですが、自分にとって後悔のないものにしていきたいです。

# 高一Bクラス展示活動報告

高一B 北川友太

クラス責任者・展示パートをさせていただいた  
高一B北川友太です。

高校生になって初めての飛翔祭最初のスタート  
は中学の時とは違いクラスのメンバーも部活や勉

強等それぞれに忙しく思っていたように進む事が  
できない中、企画案の提出やレンタル物品などの  
発注がとても忙しく、僕自身も焦る気持ちや日に  
日に増していくばかりでした。そんな時クラスの  
友達が協力してくれて、なんとか期日に間に合い、  
夏休み明けから徐々に作業が進み 飛翔祭当日に  
間に合う事ができ、B組の底力を感じました。

実行委員はじめ責任者、パトリリーダー、南山生  
の力で飛翔祭を創り上げ、直前は感動の連続でし  
た！貴重な体験をさせていただき、本当にありが  
とうございました。

# 南山ホ○ワーツ

高一C 馬島 光輝

S1Cではハリボタの世界観でのジェットコースターの展示を行いました。正直、準備段階で私は全然役に立っていませんでした。また夏休み中に人を集めるのにはとても苦労しました。あの時、もつと強く呼びかけていれば、もつと人が来てくれて当日に合うだけでなく内装も外装ももつと豪華になったんじゃないかと思います。同じく責任者のT君と担任の先生、あとはI君にも頼ってばっかになっていたと思います。そこは私の力不足もありますが、単純に優秀な2人に任せとけばなんとかなると甘えていたところがあり

ます。せめて当日は頑張ろうと思っていましたが、体調を崩してしまい、1日目に出られなかったのは悔しい気持ちでいっぱいでした。それでもこうしてお客さんがたくさん来てくれて、来場者投票では2位にかがやくことができました。これはT君やI君、先生、そして何よりクラスのみんなのおかげだと思います。ほんとにいろいろあった文化祭ですが、みんなが楽しくやれたと思うので総括としてはとても良かったと思います。

# 【ナン・D・ジョーンズ】活動報告

高一D 小久保聡太

インディ・ジョーンズ風のコースター系の企画を行いました。今回は今までにないコースターを作ろうと挑戦しました。夏休み中は人が集まらず、どうなるのかと不安でしたが、9月に入ってからクラスが一致団結して手伝ってくれたおかげで、無事に良い作品を完成させることができました。装飾は、ジャングルにある古代遺跡を段ボールや装飾品で表現し、乗る人がまるで冒険しているような気分になれるよう工夫しました。コースターを作る時、安全面とスピードのバランスを取るのが難しく、何度も試走を行いながら改良を重ねま

した。当日は多くの人に楽しんでもらい、「とても迫力があった」などの感想をもらえてとても嬉しかったです。いろいろな苦労もありましたが、担任の先生が「お客さんが最後まで笑顔でいられればいい」と言ってくださり、みんな最後まで一生懸命に取り組むことができました。自分たちの手で作ったコースターが形になり、笑顔を生み出すことができ、S1Dで金賞が取れたことが一番の思い出です。

# 壁にぶつかり学んだこと

高一E 平原 昊

企画したコンセプトは、今までの文化祭で、やったことのない企画。そして、来場者に分かりやすく、年齢関係なく楽しめるものでした。ゲームは、USJのアトラクションゲームをモチーフにしました。叩き台にバナナを乗せ、ハンマーで叩き、回転台の上の箱に入れるゲームです。一見簡単そうに思えますが、バナナを飛ばすための叩き台が企画を進めるうえで一番の壁となりました。てこの原理を利用した叩き台ですが、思うようにバナナが飛ばず、何度も支点をかえ少しずつ叩き台の木を削ったりもしました。それでもバナナが飛ばず、みんなが絶望的になっていく時に「支

点ではなく、作用点（バナナの置く位置）を変えてみては？」という提案がありました。作用点の高さを高くすると面白いほどバナナが飛ぶようになりました。高く飛んで行くバナナを見たときのみんなの歓声は忘れられません。最大の壁を突破してからは、装飾にも一層力が入り、作業を進めていくうちにみんなからどんどんアイデアが飛び出しクラスの一体感を感じるようになりました。多くの壁を乗り越えることができたのは、メンバー全員が目標に向かってそれぞれの持ち場で能力を発揮してくれたおかげです。E組のチームワークに心より感謝します。ありがとう。

# 最後の文化祭

高二A 坂川 大介

今年の文化祭では、「名探偵南山」という体験型ミステリー企画を行い、私はそのリーダーを務めました。参加者が教室内に作った部屋を歩きながらヒントを集め、事件の真相に迫る内容で、私はストーリーや証拠品の作成、演者、演出など全体を統括しました。

準備段階では、意見の対立やスケジュール管理の難しさもありましたが、チームで話し合いを重ね、少しずつ形にしていく過程はとてもやりがいがありました。本番では多くの来場者が楽しんでくれ、「面白かった」という声もいただき、大きな達

成感を得ました。

私は、初めてリーダーをしたのでリーダーとして全体をまとめる大変さを痛感しました。また、クラスメイトに迷惑をかけたものの仲間と一つのものを作り上げる喜びを実感できた貴重な体験となりました。

最後に、途中雲行きが怪しかったにもかかわらず最後まで諦めずに頑張ってくれたS2Aのみんな、色々アドバイスをくれた担任の高木先生に感謝を申し上げます。そして、史上最高の文化祭を作り上げた文化祭実行委員会にも感謝を申し上げます。

# 「ミ○○ンハチャメチャライド」を終えて

高二B 吉川 宗佑

クラス企画のリーダーとして参加した今回の文化祭は、これまでの学校生活の中でも特に印象深い経験になりました。準備期間は思うように進まないことも多く、日程調整や役割分担で悩む場面もありましたが、そのたびにクラスのみんなが意見を出し合い、前向きに協力してくれたことで、企画が少しづつ形になっていきました。当日は予想

られる心強さを強く感じました。クラス全員でつくり上げた時間は、間違いなく大きな達成感と自信につながりました。今回得た経験を、これからの学校生活にも生かしていきたいと思っています。

以上に多くのお客さんが来てくださり、楽しそうな表情を見た瞬間、これまでの苦勞が一気に報われた気がしました。また、リーダーとして周囲をまとめる難しさと同時に、人の温かさや仲間を支え

# VRの完全再現への挑戦

高二C 坂井 翔

私たちのクラスは今年「VRのジェットコースターを作る」という、これまでにない大胆な挑戦に取り組みました。夏休み中から準備を始め、上下左右360度に動くリアルなコースターの仕組みを考案・制作し、VRの映像やコースの設計、さらには世界観を高めるための衣装の装飾にも力を入れました。技術的な難しさや予想外のトラブルも多々ありましたが、クラス全員が妥協せず協力しながら何度も修正を重ね完成度を高めていきました。その結果、文化祭当日は多くの来場者に楽しんでいただくことができ、私たち自身も達成感を強く感じま

した。その努力が認められ、アカデミック賞で金賞を受賞することができました。このプロジェクトを通じて、ものづくりの楽しさや仲間と協力することの大切さを改めて実感しました。私は、これまでの4年間の文化祭の中で、今年が間違いなく最高の文化祭だったと胸を張って言えます。

# S2D クラス企画活動報告書

高二D 一戸 皇希

今回は海賊をテーマにした射的がメインの企画を行いました。

テーマ決め自体は夏休み前にすぐ決まり夏休みという長いようで短い期間でどう進めていくかを話していました、しかし、人は集まらず、企画内容の詳細も決まらないうえに装飾さえも進まないまま夏休みはあつという間に過ぎていきました。夏休みが明けてからは夏休みに比べ多くの人が集まってくれたため企画内容や、装飾などが一気に進みました。そして最後の一週間で追い込みをかけてクラスみんなで装飾を進めましたがいよいよ完

成とまではいかずに文化祭当日を迎えることになりました。文化祭開催中の間僕は受付案内パートの仕事をしていたためクラス企画のほうには行けておらず教室の様子はわからないですが、受付案内パートの仕事に自分のクラスの企画が楽しかったという話を聞いて嬉しくなりました。協力してくれたクラスの皆には感謝していますし最高の文化祭だったと思います、ですが、個人的にはやはり完成した状態で文化祭を終わりたいかななどの心残りも残る結果となりました。

# 想定外の Trouble が招いてく Chance

高2 E 冬木 正陽

2学期の最初まで、クラス全体の士気が低く、あ

まり進展が生まれず、先行きの危ういスタートであった。リーダーである私も、この事態に対処する術をわからず、指を咥えて状況を眺め責任転嫁してしまっていた。そんな中、人望のあるクラスメートが、私に全体の士気を買って出してくれた。それからは、クラスの全員が何かしらの形で参画することができ、装飾、アトラクションともに素晴らしいものが完成できた。それらを、銀賞という結果で評価していただくこともできた。(達成感や制作過程の楽しみが銀賞という結果に対する喜びに上書きされてしまったよ

う)に思われて、寂しさがあるのも事実だが。

最終的に、それらは当初の計画とは大幅に異なるものになった。しかし、進展が芳しくない中で軌道修正を重ねた結果だと私は思っている。そして、このような軌道修正は、文化祭で体験されることを最も期待されることの一つだと思う。

最後に私個人としての話をする、他者に指示を出すことの難しさを学んだ。それは、与えられた責務を果たさない人間にそれをやらせるという、人の上に者が為さなければいけないことを体験したということだ。この経験を今後の人生に活かしていきたい。

# 部展示

## アマチュア無線同好会 活動報告

アマチュア無線同好会 中三C 潘 世博

今年度の飛翔祭では、来場者楽しんでもらいたいと思いでローンの展示・体験飛行をメインに行いました。体験飛行では来場者の方に実際に操縦してもらったり、ドローンの追尾機能で楽しんでもらいました。ドローンの飛行体験では飛行場を去年より大きくしたりしました。また、例年同様今年度も交

なと思います。今年は残念ながらアンテナタワーを使えなかったので来年度からはそちらのほうでも交信をしたいと思っています。

最後に、展示を支えてくださった部員の皆さん、顧問の宮下先生、OBの方々に感謝申し上げます。

信の様子や航空無線の傍受をしました。その結果無線に関心がない方も、従事者も楽しんでもらえたか

# Breakthrough to the Awards

英語部 高二B 中村 琉生

今年度英語部は、エンタメ部門で銀賞、アカデミック部門で銅賞、さらに総合銅賞を受賞し、見事初入賞を果たしました。

この成果を語る上で欠かせないのが、英語部史上初となる合宿です。2025年4月、僕の「英語部も合宿に行こう！」という一言でした。そこから計画し、夏休みに大阪万博を訪れました。万博では、各国のパビリオンを巡りながら、文化の多様性や将来の展望、地球が抱える課題とその解決策について学びを深めました。合宿中は英語を主に使用し、部員の語学力向上にもつながりました。合宿後は学年間の交流が一層盛んになり、部活動への出席率も向上しました。

今年の企画は「万博」をモチーフとした、来場者に異

文化に触れてもらうという学術的なものでした。従来企画のように単にゲームをするのではなく、今回はストーリーの展開に合わせてゲームを組み込んだほか、動画の活用やレポート展示などにも挑戦しました。

英語部は少人数で、かつ専用の部室がなく展示物の保管が出来ないため、昨年度の展示物の使いまわしができず、すべてを一から制作するという圧倒的不利な状況でした。それでも入賞できたのは、部員一人ひとりの努力とチームワークのおかげです。

これからも英語部は、部員の英語力向上を図るとともに、海外に興味を持ってもらえるような展示をしていきます。

## タイトル未定（部展示）

奇術部 高二D 島崎 健翔

去る9月20、21日。奇術部は本校の文化祭に参加しました。今年度は某魔法魔術学校をテーマとし、夏休みから文化祭に向けて中1から高2までの奇術部員70名弱が作業に励んでくれました。そして迎えた本番では本当に多くの方に来ていただき、大変盛り上がりました。特に中1の子たちがとても積極的に受付、案内などを担当してくれて大変助かったと同時に、部長におのれの積極性のなさを反省させました。1日目終了の時点でアクシデントが発生、本テーマでお馴染みの某青い車のドアがすべて取れるなど大破し、その後の会議によ

り車を修復する材料、意志がもうないことから廃車の運びとなり、2日目はオブジェクトとなった車を横目に森を歩く展開となりました。奇術の力でも車は直りませんでした。波乱の文化祭も皆さんのおかげで無事終了することができました。3連覇とはなりませんでしたが大変満足いく最後の文化祭となりました。本当に様々なことが起きたので、奇術部通信名の「タイトル未定」を本文のタイトルとさせていただきます。部員やご来場くださった方への感謝をもって本文を締めます。ありがとうございました。

# カタストロフィ

写真部 高二B 大島 啓登

今年の文化祭では、部員それぞれの思い出の瞬間をテーマに展示しました。また、今年は写真以外

でも展示を楽しんでほしいと考え、例年来場者にノートに書いてもらっている感想を生かすため教室の外に色とりどりの付箋とそれを貼るためのパネルを設置しました。来場者が僕たちの展示の感想をパネルに貼るたびに白いパネルがカラフルになっていくことで思い出の瞬間が積み重なり鮮やかな記憶になっていくことを表現しました。僕たちが想定していたよりもたくさんの方に感想を書いていただけで、とても鮮やかで美しい展

示が出来上がりました。

しかし、残念なことに入賞することができませんでした。ですが後悔はなく、来年、再来年といつまでもこの写真部の活動が続いたらいいなと思います。

# 将棋部

将棋部 高一A 高田 純兵

今年の将棋部では、「南山男子部と将棋」というタイトルで、部活展示を行いました。今年の展示は、去年の展示と比べて充実ものになりました。去年は、机と椅子を用意して、自由対局のスペースを展示しただけでしたが、今年は、「王将」の駒を巨大な段ボールで製作したり、自分たちが研究した将棋の定跡を黒板に貼って、発表したりと、展示物に大きく力を入れることができました。最初は、文化祭までに間に合うか不安もありましたが、将棋部員をできるだけたくさん集結させ、諦めず力を合わせて頑張った結果、無事に完成させることができました。本当に嬉しかったです。ご来場になられた方々から、これら

の展示物を見て、「すごい」という声をいただいたり、展示の写真を撮ってくださいたりなど、温かい反応をいただきました。本当に諦めずに作って良かったと改めて思いました。そして、これらを完成させるために一緒に手伝ってくれた仲間たちにとっても感謝しています。本当にありがとうございました。今回の展示を通じて、ただ将棋を指すだけでなく、「伝える」「魅せる」大切さを学びました。今後も、将棋部の奥深さや面白さをもっと多くの人に伝えられるよう、日々の活動に力を入れていきたいと思えます。来年の文化祭では、さらに進化した展示を目指して、仲間たちと共に新しい挑戦をしていきたいです。

# PC同好会活動報告

PC同好会 高二D 菅沼 賢

今年は来場人数も去年より多く、去年より忙しい一年になりました。PC同好会の展示に来たお客様の数も二倍に増え、なかなか人が足りない状況になるときも多々ありましたが部員のみんことや文化祭実行委員会に所属しているクラスメイト、顧問の奥岡先生などに助けや助言をもらいながらなんとか最後の文化祭を無事に終えることができました。

なんといつても今年は私たちの代にとって最後の文化祭ですからクラスのほうも今までにないぐらいの熱気があり、それも相まってクラス企画と

同好会展示の両立が一番の課題で、それを解決してくれたのも心強い仲間たちのおかげでした。ほとんどの部員は主体的に文化祭企画に参加し、自分がそんなに先導しなくても最後まで走りきることができたのだと思います。

# 『南男万博』美術同好会の活動報告

美術同好会 高二C 山内 成央

美術同好会は例年とは違う新しい挑戦をしました。油絵・水彩中心の展示から、彫刻や水墨画・顔彩などのこれまでに使ったことがない画材や技法を取り入れました。慣れないことだったので、何度も修正しました。細部までこだわり、文化祭ギリギリまで時間をかけて丁寧にした作品が並びました。さらに、部員それぞれが、今回試した画材や技法についてまとめたレポートも展示し、来場者の方々に楽しんでいただけたと思います。

今年のテーマは「南山万博」。太陽の塔やミヤクミヤクをモチーフとして、外装にも力を入れました。

た。美術同好会は部員数が少ない部ですが、夏休みに全体で活動しました。直前に大幅な修正をすることがあり、大変な作業もありましたが、一生懸命に頑張ってくれた後輩たちは本当に心強かったです。そして部活動展示部門で、装飾賞銅賞と総合銅賞をいただきました。

部長として、みんなをまとめながら、文化祭展示を成功させることができるのかと悩んだこともありましたが、後輩たちの頑張りと笑顔に支えられました。一緒に作り上げることができて、すばらしい経験になりました。

# 飛翔祭を終えて

理科部生物班 高二C 竹内 颯汰

まず初めに、今回の飛翔祭において部活動部門で銀賞をいただけたことについて、一緒に展示を作り上げてきた部員、そして顧問の宮下先生、勝山先生に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度の飛翔祭では「南男生物班から未来へつなく水辺の生き物たち」をテーマに、展示内容を工夫しました。

アマゴやタガメをはじめとした70種以上の日本に生息する水辺の生き物の展示や、制作してきたホルマリン標本の展示、さらに「アマゴとヤマメの

朱点の考察」や「外来種と生態系」などのレポートを通じて、専門的で充実した展示を実現しました。

また、多くの方が楽しめる展示を目指し、実際に水が流れる里山のジオラマの展示、苔テラリウム作り体験、カエルのふれあい体験などを行いました。その結果、生物に興味のある方も、そうでない方も楽しめる展示ができたと思います。

最後に、展示に足を運んでくださった皆さま、忙しい中応援に駆けつけてくださったOBの先輩方、そして私たちの展示を評価してくださった先生方、本当にありがとうございました。

# 理科部地質班 活動報告

理科部地質班部長 高二D 垣見 一颯

今回の展示は部員達が作った化石の模型の展示と、実際に採集した化石を使ったクリーニング体験を行いました。

体験してくれた皆さんがとても楽しそうに体験してくれて自分もとても嬉しかったです。化石の模型作りも部員の皆が頑張ってくれて、良いものを作ることができました。

私は高校1年生から部長になり、皆でより良いものを作ろうと思っていました。しかし高校2年の夏休みの時に病気にかかってしまい、二週間入院せざるを得なくなっていました。しかしそ

の間に副部長や顧問の先生方、そして部員たちが一丸となって準備に取り組んでくれたことで、遅れずに文化祭当日を迎えることができました。

本当にありがとうございます。

私たち高2生は来年からは部活に足を運ぶことは少なくなってしまうですが、今の部員たちならきっとこの部活をもっと良いものにしてくれると信じています。

重ね重ね本当にありがとうございました。

# 2025理科部天文班活動報告書

理科部天文班 高二C 大島 彬暢

今年度、理科部天文班では年間を通して多様で充実した活動に取り組みました。

まず、部員全員で協力しダンボールを用いたプラネタリウム制作を行いました。星座の配置や光の差し込み方を何度も試し、宇宙の魅力を身近に感じられる作品に仕上げることができました。

また、昼神温泉・姫木平・野辺山での合宿では、澄んだ夜空の下で星々を観測し、天体に関する知識の共有や意見交換を行うことで部員同士の理解と絆を深めました。

さらに新規部活Tシャツの制作では、デザインの話し合いを通じて部としての一体感をより強く感じることができました。

文化祭では天文班過去最大規模となる外装制作に挑戦し、来場者が宇宙に包まれるような展示を目指しました。準備には多くの時間と労力を要しましたが協力し合う事で達成でき大きな成長を実感しました。

これらの活動は天文に関する知識を深めるだけでなく、計画性や責任感更には学年を問わず部員同士により強固な絆を育む機会にもなりました。来年度の通常活動や文化祭でも次世代の部員全員が楽しく参加し、創設から今まで大勢の顧問の先生方や部員、その他にも活動を支えて頂いた方、すべての人々の思い入れがある天文部を再び軌道に乗せてくれると信じております。

# 歴史研究同好会 活動報告

歴史研究同好会 高二A 井俣 颯斗

今年の文化祭で、歴史研究同好会は20年ぶりに部活展示部門・総合金賞を取ることができました。

私は昨年10月にこの歴史研究同好会の部長に就任し、部員全員と話し合い、目標を「文化祭総合金賞」に決定して、「城」をテーマにした研究発表だけでなく「体験イベント」や「お城の楽しみ方」なども盛り込み、子どもから大人まで楽しめる展示を目指しました。

しかし夏休みの準備期間中は人手不足やスケジュールの遅れなど、思うように進まないことも多く、そのたびに「退却はしない！」と自分に言い

聞かせて乗り越えました。

文化祭当日は、お客さんの笑顔にも励まされ、苦勞もすべて良い思い出・経験になりました。支えてくださった先生方、部員のみんな、実行委員会の皆さんをはじめ、支えてくださった全ての方に心から感謝します。

後輩たち、「来年も天下をとってくれ！」

# 有志展示

## [Burning Amp] 活動報告

[Burning Amp] 中二D 高谷 俊哉

僕は、文化祭において小教室2をお借りし、音楽ゲーム(以下、音ゲー)を展示させていただきました。

まずなぜ僕が音ゲーを出展しようかと考えた理由は、僕は日ごろから音ゲーに親しんでおり、以前に音ゲーを展示していた方と交流があつてその方がゲームを製作されているとき、とても楽しそうに話をしていたのを覚えています。自分もゲームを作り、多くの人に遊んで楽しんでもらいたいという思いがゲームを作ろうとしたきっかけでした。

文化祭1日目にコントローラーが一台破損するとううハプニングはありましたが、2日目には小さい教室を半区画で使用しながらも、外に列ができるほど多く

の人に遊んでいただきました。

今回ゲーム制作をして分かったことは、「複雑」ではいけないということです。特にタイピングが大事な音ゲーでは、「思考のワンクッション」を要する複雑な動作をばさんでしまうものはプレイする側にとって「難しい」のだと気づかされました。この音ゲーでは縦一列に並ぶボタンと横向きのレオンという直感的にプレイできない状況を作ってしまった、「複雑で難しい」という印象を与えてしまったようです。

この貴重な経験を通して反省と気づきを得られたことは次の有志展示だけでなくクラス展示でも活かしていきたいと思えます。

## 頭文字N 活動報告

頭文字N 中三A 山本 修士

今回有志団体として、VRのレースゲームを作ることにしました。以前からVRを使った企画をしたかったのですが今回こうした形で実現することができてよかったです。なぜVRにこだわったのか、それはVRにはただのモニターにはできない、立体視及びジャイロセンサーを用いて360度どこでも向くことができるというメリットがあり、迫力のあるゲームを生み出せると考えたからです。しかし、その分開発する難易度は高くなります。スマホを利用するVRだったのですがセンサーの精度が悪く少し動いただけで高速回転し何度か酔いましたが最終的に安定さ

せることに成功しました。こうして一番の難関を乗り越えたと思いきまだほかの作業が残っているにもかかわらず調子に乗っていて気づいたら2日前でした。そして前日に急ピッチで開発を進めた結果データが破損し1日目の営業開始が1時間遅れたことはしっかり反省しようと思えました。しかし当日プレイしてくれた人たちは、ゲームを楽しんでくれてとてもよかったです。いろいろあっても何とか企画を成功させることができました。ここまでこれたのは企画にかかわってくれた仲間とアドバイザーのジュベール先生のおかげです。ありがとうございました。

# 緑鳥 活動報告

緑鳥 中三E 浦田 征治

今年度の緑鳥は去年よりも良いものを届けるた

め、去年の課題であったカメラワークや画質について改善するために映画についての本や動画を見て新たな技術を学ぶことができました。この経験を通してより本格的な映画を撮ることができました。役者の会話のシーンではなんどもリテイクを重ね納得のいくものに仕上げていきました。

文化祭当日人が来るかとても不安だったのですがうれしいことに500人を超える人々に観ていただくことができました。しかし今年度は画質は上がったもののセリフが聞きにくい箇所があったため次

回につなげていきたいと思えます。

今回本格的な映画製作へ乗り出すことができ、本当に貴重な経験をすることができました。

そして脚本についてアドバイスをくださった菅井先生、急なお願いにもかかわらず答えてくださった中谷先生、撮影に協力してくださった役者陣の皆様から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

# 鉄道研究会 活動報告

鉄道研究会 高一D 浅野 蒼太

私たちは企画書を提出した6月からモジュールジオラマの制作やメンバーが関心を持っている鉄道についてのレポートの作成、列車や駅名標の絵を描いた段ボールの絵画などに励んだ。夏休みは予定がなかなか合わず活動日は限られてしまったが、9月はほぼ毎日活動できた。メンバーがそれぞれ作り上げた、鉄道に関するレポート、レイアウト

学生に人気があり、来場者からの評価も良かったと考えられる。展示を通して今後の鉄道研究に期待を寄せてくれた来場者も見受けられ、来年度以降も文化祭で展示を出したいという思いを新たにしました。

や加工した車両などが展示されたものである。展示会場が4階の奥の教室であったため来場者が足を運んでくれるか不安があったが、想定以上の人が訪れてくれた。特にレイアウトは未就学児や小

# 有志展示“Life Style in Nanzan Boys”活動報告

高二有志展示 高二A 長谷部 優

僕は文化祭で、“Life Style in Nanzan Boys”と題

して、文化祭に来場してくださった方のなかでも特に南山男子部への受験を考えている小学生とその保護者の方に向けて、南山男子部での普段の生活を伝えるための記事の掲示を校内各所で行いました。

「普段の南男生の1日」「テスト期間の南男生の1日」「南男スポット紹介!」「部活選びのすすめ」「南男生のリアル勉強事情」「文化祭ができるまで」の6つの記事を執筆しました。当初の予定ではもう少し記事を増やす想定だったのですが、僕の都合でかなり削ってしまいました。また、結局完成したのが文化

祭当日、土曜日未明の1時半ごろで、印刷・掲示をすべて企画アドバイザーの野末先生にお任せしてしまいました。ありがとうございました。

記事の内容には良い評価をいただけただけのように感じています。また、広報部の先生方からも校説明会などの場で使いたいと言っていただけました。自分が作ったものを評価していただけて、とてもうれしく思います。僕の掲示をきっかけとして、南山男子部を目指してくれる小学生が1人でも増えてくれたら嬉しいです。

# 馬と人との「キズナ」

サンダバ 高二B 古田 智也

今回の有志展示サンダバでは、名古屋競馬場で撮影した写真を展示しました。

人と馬が人馬一体となる姿を収めたいと思い、8月に名古屋競馬場を訪れました。そこでは、厩務員に導かれてパドックを周回する馬たちや、騎手と「人馬一体」となってゴールを目指す姿が広がっていました。

私はこれまで何度も競馬場に足を運んでいます。が、いつ訪れても「一着を目指して人と馬が共に駆ける姿」は本当に素晴らしく、胸を打たれます。その瞬間をファインダー越しに捉え、今回展示させ

ていただきました。

この展示を通じて、馬と人が一体となって駆け抜ける迫力や美しさを、多くの方に感じ取っていただければ幸いです。

# アラジン

とある高校生が演劇してみた 高二D 長江 遼真

今回、有志企画で「アラジン」の劇を行いました。僕は去年、クラスで劇をやっていたそのメンバーが再集結、そして新たなメンバーが加わり、計25名で行いました。やはり、去年もやっていただけあって、今回は思っていたより準備が早く進みました。どんどん準備を進めていくと、懐かしさを感じ、より作業がはかどりました。そして迎えた文化祭当日。最初の公演はやはり、お世辞にも上手いと言える劇ではありませんでした。しかし、公演を繰り返していくうちにどんどん上達していきました。そうして一日目が終わりました。そして二日目、僕が

廊下で宣伝をしている時にある女の子が話しかけてくれました。その女の子はなんと去年も劇を見てくれており、今回も楽しみにしていてくれたそうです。その女の子は、去年行った劇の「美女と野獣」のプリンセス、ベルというキャラに似たドレスを着て見に来てくれました。そして終わった後に、今回も面白かった！と伝えてくれました。僕は女の子の笑顔を見て、今回もやって良かったなど心から感じました。共にやった友達や見に来て下さった方にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。

# 成長という物語の1ページ

高二有志謎解き 高二E 冬木 正陽

昨年も、同じ謎解き企画を行ったのだが、あまりプレイヤーがどう受け取るかということ意識できず、自己満足のような作品になってしまった。今年はその反省を生かし、伝えるポイントを絞り、客観的な視点からのチェックをたくさん入れたことで、プレイヤーに表現したいことを伝え、楽しんでもらうことができたと思う。そして、この二回の文化祭に、1年間の自分の思考力や人間としての成長を見ることができると思う。今回、他者に対して作品をもって表現することの難しさや、他者に協力を仰ぐことの大切さについて学んだ。2回行った

テストプレイでは、何時間もかけて作った謎が、「びんと来ない」「難しすぎる」といわれ、それを納得してもらうものへと作り替えた。そして、パワーポイントを用いてキットを作る際には、PCに詳しい人から、当日冊子があまりもらってもらえなかった際には、「声をかけて手渡しをすればどうだ。」と教員からアドバイスをもらい、それらに従うことで、企画を良いものにすることができた。今回の経験を、今後の学校生活、引いては人生に生かしていきたいらと思う。

# 舞台

## 悔しさを糧に

ブラスバンド部 高二A 黒川 翔太

今年も、企画して下さった文化祭実行委員会、顧問の先生方の支えがあり、飛翔祭で2日間演奏させていただくことができました。心から感謝いたします。演奏を聴きに来てくださった方々にも感謝申し上げます。

今年の7月に吹奏楽コンクールがあったのですが、そこで悔しい思いをし、なにか足りなかったのか、なにをすべきなのか模索する日々が続きました。そして次の演奏の舞台である飛翔祭を最高の演奏にすると心に決め、全力で練習に励みました。部全体でひとつのものを作り上げることの難しさを実

感しました。しかし、皆で追求する時間こそ部活動であると強く感じ、日々を過ごす毎に部員一丸となつて、演奏を良くしていこうと高め合うことができました。本番をむかえ、たくさんの方に私達の演奏をお届けできたこと、大変嬉しく思います。そして部活舞台部門金賞を受賞することができ、ひとりひとりが自分自身・音楽・仲間と向き合い、悩み、互いに助け合いながら、試行錯誤していた時間を積み重ねたことが少しずつ成長につながっていることを感じる事ができた飛翔祭でした。

## タイトル未定（ステージ企画）

奇術部 高二D 島崎 健翔

ステージ企画では講堂を使用し、公演を行いました。大道具を使用したイリュージョンやジャグリングなど多種多様な演技をお見せしました。前日祭（在校生のみのイベント）では某大物 YouTuber に扮して演技を行い、大盛り上がりとなりました。

味を占めたステージ関係者たちは初日の公演でも行いました。その日は自分と中3の子が司会で、もし滑ったらどうしようと思っていました。無事盛り上がったので良かったです。扮してくれたKくんありがとうございました！演者が来ないなどのアクシデントもありましたが、満足していただ

ける公演になったのではないかと思います。また、舞台パート、実行委員会の方々や先生方にもお世話になりました。クラス展示のほうに書くことは書ききってしまったので早いです。縮めたいと思います。ありがとうございました。

# 演劇同好会 活動報告

演劇同好会 中三B 横山 春尊

演劇同好会副部長の横山です。今年は『戦後80年演劇いつかの子らよ』という演目でした。タイトル通り80年前の太平洋戦争の時のお芝居です、内容は80年前の学徒出陣で兵士となった曾爺ちゃんの手記を通して曾孫たちが当時の戦争の悲惨さと曾爺ちゃんの想いを知っていく物語となっています。

この演目をしようと決めたのは5月、2025年が終戦から80年の節目の年であり、語り部も少なくなっている現代で後世にも戦争のことを伝えていくためにもやらなければと使命感があったからです。そのために当時兵士であった方にインタ

ビューをしたり、靖国神社の英霊たちの言葉が書き記されている本を読んでみたりなど様々な方法で当時の様子を調査し劇に落とし込もうとしました。当日は外部顧問である御陵一座様の助けもありつつ照明音響衣装どれも完璧の状態で挑みました。稽古の際はセリフがまずくなどの問題はありましたが無事に劇は成功し、観てくださったお客様からはとても好評で私たちにもいい経験となり最高の劇になったと感じています。

# DANDY STREET

DANDY STREET 高二B 中島 凜軌

僕たちは今年の飛翔祭でDANDY STREETというダンスチームとして舞台の有志企画に出演しました。有志が集まったので、各々予定があり、集まって練習出来るのは昼休みの時間のみと限られていました。未経験のメンバーも多く、振り覚え、立ち位置、動きを合わせる、と様々な壁がありました。ですが、隙間時間を見つけて各自で練習を重ねました。互いに教え合うことで、動きがそろいはじめ、本番に向けてチームがまとまっていきました。本番では、それぞれが最大限のパフォーマンスを發揮することができ、650人以上の方にきてい

ただいて、無事に大成功に終わりました。見に来ていただいた皆さんにありがとうございます。そして、メンバー、手伝ってくれた4人の裏方の友達、準備をしてくださった文化祭実行委員のみなさん、練習場所を提供してくださったアドバイザーの先生、みんなに本当に感謝しています。接点もないようなバラバラな7人でしたが、一つの事をみんなで作し遂げたこの経験は忘れられないものになりました。この経験を通して、協力しあうことや、友達の大切さを改めて感じました。感謝の気持ちを忘れず、今後もこの経験を活かしていきたいです。

# Ensemble Harmonia

Ensemble Harmonia 高三E 坂井 映亮

ヴァイオリン 英語科 長久保先生

高校1年 岩渕 宥樹

ヴィオラ 英語科 佐々木先生

チェロ 高校3年 坂井 映亮

ピアノ 高校3年 山田 旺詩

今年の文化祭では、デイ・カプア作曲「オーソレミオ」とポツパー作曲「ハンガリー狂詩曲」とエルガー作曲「威風堂堂々」を弾きました。

オーソレミオはヴァイオリン2丁とチェロ1丁、威風堂々はヴァイオリン2丁とヴィオラ1丁とチェロ1丁で弾きました。初めて練習で合わせた時、なかなか合わず、改善点がたくさんありました。しかし、こういう風に弾

くかなど話し合いながら何度も何度も練習を積み重ね、本番でしつかりと思いつ通りに弾けました。佐々木先生は、新しいヴィオラを購入。岩渕くんは、安定の上手さ。

ハンガリー狂詩曲はソロ…チェロ、伴奏…ピアノで弾きました。2人でのタイミングで入るか、テンポなど色々決め、夜中まで練習をしました。僕は、緊張して震えていたけど無事本番で弾き切ることができました。旺詩君、難しい伴奏引き受けてくれてありがとう！

僕も含め、みんなとても緊張しましたが、たくさん練習をしたおかげで楽しく、悔いのない演奏ができました。舞台上で弾く機会を与えてくださりありがとうございませう。長久保先生、ヴァイオリン弾き続けてくださいね♪

# 有志演奏

## OUR HANDS

OURHANDS 高一B 澤田 怜来

去年につづき2回目となりましたが今年もメンバーのスケジュールがなかなかみ合わずあまり全体で合わせて練習できなくて最後まで不安は

残ったままでしたが演奏が終わった後にはたくさんの方に「去年よりも良かった」「最高だった」と熱いメッセージをいただきほっとしています。僕も今年からベースの愛十が新しく加わってくれたのとメンバー全員の努力もあり、より一層音に厚みができたと感じています。

また今年は、去年よりも多くの方に足を運んで

見に来ていただき去年と同様たくさんの方の熱い声援に支えられ、僕たちもとても楽しく演奏することができました。

最後になりますが、来年も皆さんと一緒に盛り上げられるように、より一層努力していくので引き続き応援よろしくお願いします！今年も熱く応援していただき感謝しかないです。ありがとうございます。

# significant

significant 高一E 水谷 凌万

このバンドを結成するきっかけになったのは、ギターの岡部くんが誰かバンド組んでくれる人いないかなあ、とX(旧Twitter)でつぶやいているのを見て僕もバンドでベースを弾いてみたいなど思い声を掛けました。また、僕と同じブラスバンド部でパーカッションを担当しているドラムの林くんに僕から声を掛けました。このメンバーは割と早めに決まったのですが、ボーカルが最後まで決まらず信宗くんに決まったのは申し込み用紙提出の2日前です。その後も急いで曲とバンド名をみんな決めてました。これで何とか提出できそうだったのですが、アドバイザーの先生が提出日当日まで見つかっていませんでした。いきなりお願いしたのに快く引

き受けてくださった梶藤先生には感謝しかありません。本当にありがとうございます。申し込み用紙も提出できたところで夏休みに入りいざ集まって練習！といきたいところなんですが、ブラスバンド部の方が大会や合宿等で忙しかったこともあり夏休み中は2回しか練習できませんでした。9月に入りこれはまずいと思ひ、土日や放課後等に何度か集まって練習しました。しかしなかなか楽器隊のみで曲が完成せず、ボーカルを入れての練習は本番の2日前でした。そうして迎えた本番ではトラブルもありましたが大盛り上がりで幕を閉じました。来年も演奏したいと思っています。が、来年はもっと早くから準備をしたいと思っています。

# BRIGHTEST HEART

Unconditional 高二B 古田 智也

Unconditionalでキーボードを担当しております、古田です。

今回は、私たちのバンド「Unconditional」の活動と、その舞台裏についてご紹介いたします。

今年は特に「演出」にこだわった二年でした。最初の曲決めの際、私が強く希望したのが「ALEXANDROS」の「超える」でした。この曲は、4月から放送が始まったアニメ『ウマ娘シンデレラグレイ』の主題歌であり、初めての楽曲提供作品でもありました。

この曲を演奏するにあたり、まさか自分がアニメの主人公・オグリキャップのコスプレをすることになる

とは思ってもみませんでした。最終的には挑戦することになりました。本番が近づくにつれ、メイクの研究やウィッグの管理など大変なことも多くありましたが、多くの方々のお力添えをいただき、無事に本番を成功させることができました。

他のメンバーも、メインボーカルの宮部くんをはじめ、それぞれが全力を尽くしてくれました。今年でUnconditionalは解散となりましたが、かけがえのない3年間はいままでになく素晴らしい思い出でした。

最後になりましたが、この場をお借りして、有志演奏にご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

# つながり

Nexus 高二C 河合 俊輔

「Nexus」とは英語で「人々の間の繋がり」といった意味です。

2024年、文化祭が終わったところ、私はドラムの本間くんバンドに誘われました。正直、その時は話だけで自然消滅するだろと思いつつもその誘いを受け、ボーカルになりました。

それからバンドとして全員が集まるのは11か月も先の話になります。

「Nexus」のメンバーは全員が初心者でライブ経験ありませんでした。やる曲を決めたのはいいものの各々楽器の練習はそう簡単に上手くいかず、初めてのスタジオ練習は5月に計画されました。

その矢先ボーカルである私が肺に穴をあけると言うアクシデントがあり、スタジオで全員集まることは出来ませんでした。その後、私は手術し歌えるようになりましたが、なかなか全員が集まらない、演奏が良くならない、といった状況が続きました。しかし、このバンドにとって希望だったのが私を誘った本間くんでした。ドラムは初めてだったのにも関わらず早々と仕上げてきて、メンバーにアドバイスを送ってくれました。彼は練習も唯一の皆勤賞でした。ドラムがいないと演奏が成り立たないので本当に感謝しています。そして文化祭の3日前、最後の練習でついに全員が集まること

できました。その時の写真は私の宝物です。

ライブ本番では見に来てくれた方たちに温かく迎えられ、大きなミスもなく成功と言っていい出来だったと思います。

バンドはチームスポーツです。メンバーどうしで意見が合わないことがあっても協力して1つの音楽を奏でます。私はこのバンド活動を通して人と協調することの大切さに改めて気がつきました。最後に、約1年間一緒に活動してくれたメンバーに心から感謝したいです。

これからどこでどんなバンドを組もうと、この「Nexus」が私にとって初めてのバンドであることに変わりはないです。絶対に忘れることはありません。

本当にありがとうございました。

# 模擬店

## J3A・C 模擬店 活動報告 計画性の重要さ

中三A 長谷川 脩真

まず最初に今回の文化祭のリーダーを努めて一番大事なことは、「事前の計画とスケジュール管理」だとわかりました。事前の計画では、模擬店の材料をいつ、誰が買って、持ってくるのかのかがとても重要です。そこでトラブルが生じてしまうと模擬店の営業に大きく影響してしまいます。スケジュールの管理では、当日のシフトで誰が、どの時間帯に入るのかが重要です。もし、誰かが当日欠席で休んでしまったり、シフトを忘れている。人がいたら働いている人にストレスを感じさせてしまうことがあります。このことから準備段階での段取りの重要性を実感しました。当日でこのトラブルがありました。従業員の人が迅速に対応していただいたおかげで何事もなく成功することが出来ました。

もちろんチーム全員で協力することもまた重要だと思いました。たまたまを作る時お客さんが一気に並ぶことが多いと予測していたので効率性が求められていました。当日卵を焼く人、ソースをかける人、せんべいで挟む人、包み紙で包む人で分担していたのですが連携しなければ回らないと実感しました。

この経験を通してリーダーとして重要なのは、みんなが気持ちよくシフトで力を発揮できるように支えることだと学びました。今回得た経験やチームワークを今後の学校生活に役立てていきたいです。

今回、僕ができない部分を補ってくれたA組とC組のみんなにとっても感謝しています。  
本当にありがとうございました!!

## 恵まれたチーム

中三B 根崎 奏良

まず今回の模擬店ではみんなでたこ焼きを提供したいと考えていましたがたこ焼きを実際に自分たちでは作るのは時間や技術的な問題によりとても厳しく、よりよいたこ焼きを作るためにみんなで様々な意見の対立もありました。僕が実際に作るのを諦め、冷凍食品のたこ焼きを使用することに決めるとき、僕は反発があるのではないかと思いましたが、当日みんなにも文句を言わずに自分の業務外やシフト外の仕事をしてくれており、僕はいい従業員に恵まれたと強く感じました。またたこ焼きを買ってくれた男の子がめっちゃうまい！店のたこ

焼きよりおいしい！と言ってくれて僕は本当に模擬店店長になってよかったと心の底から思ったのと同時に自分たちが作ったたこ焼きに誇りを強く感じました。僕は今回のたこ焼きは結果的に好評ですぐに売切れ大成功を収めたと思います。そしてこれらの経験を活かして更にお客さんをつぎの機会です満足させられるようにまた頑張ってみたいと思います！有難うございました！

# 模擬店J3E 活動報告

中三E 浦田 征治

今年J3Eの模擬店はベビーカーステラを作りま  
した。ベビーカーステラを作ると決まった時からレ  
シピを考えて夏休みも成田先生の協力もあり、ク  
ラス全員で模擬店の準備や焼く練習をすることが  
できました。何度も試作を重ねていくうち  
に本当においしいベビーカーステラを作ることがで  
きてうれしかったです。文化祭当日焼くのに使っ  
たタコ焼き機の電気がつかなくなるというトラブ  
ルも起こりましたが、スムーズにベビーカーステラ  
を売ることができたと思います。その結果、想定よ  
りも多くお客さんに届けることができました。

今回中学三年文化祭の模擬店は初めてというも  
のでしたが、クラス全員で楽しくやることができ  
ました。

最後に決して安くはない調理器具を用意し最後  
まで準備を手伝ってくださった成田先生、そして  
クラスの皆さんに心から感謝申し上げます。本当  
にありがとうございました。

# 「ピザの斜塔」活動報告

高一B 佐渡 奏太

高校生になったら必ず模擬店をみんなでやるのが夢でした。企画の段階から、よくあるものでないものにしたいたいと考え、みんなからアイデアを募集しました。早い段階で餃子の皮の皮を使ったりピザの案が出て、みんなでトッピングを考えました。安くておいしくて早く提供できるといふものという事でトマト味とコーンマヨネーズ味になりました。それぞれの家で試作をみんなが作りしました。夏休み明けにみんなで試食会をして先生にも「おもしろいおいしい」と評価してもらいうれしかったです。文化祭前日、段取りを考え、役割分担をし

たが当日は火が全然通らない、一日分のチーズが早くなくなったりして大変でしたが無事完売。二日目は一日よりも多く売れて完売することができ、さすが達成感がありました。模擬店メンバーとも企画を出し合ったり試作をしたりして仲が深まりました。そして商売はおもしろいと感じました。

# S1C 模擬店「ハッピー☆塩焼きそば」活動報告

高一C 高橋 悠太

今回の模擬店「ハッピー☆塩焼きそば」の活動を終え、クラス代表として、準備段階での不手際について心からお詫び申し上げるとともに、多大なご協力への感謝を申し上げます。

準備では、必要量のわずか1/4という重大な材料発注ミスが発生し、ソースの分量設定においても不備がありました。さらに、当日私が体調不良により離脱してしまい、クラスの仲間たち、そして梶藤先生、和田先生には、多大なご迷惑とご心配をおかけしました。この責任を痛感しております。

しかし、この厳しい状況を、クラス全員の機転と迅速な行動が救ってくれました。私のミスを全員でカバーし、協力し合う姿に、心から感謝の念を覚えます。

皆の尽力のおかげで、模擬店活動を最後までやり遂げることができました。

また、運営スタッフの募集時、必要人員20名に対し12、3名しか集まらなかったことから、組織をまとめる力、情報を浸透させる力が自分には不足していることを痛感しました。

この経験を通じ、私はリーダーシップの重圧と適性について深く考えました。来年はこの活動で知ったリーダーの大変さを活かし、先頭に立つ仲間を最も近くで、確実に支える存在として貢献したいと考えています。今回の反省を糧に、来年度は縁の下の力持ちとしてクラスを支えていきます。

# 【フアイヤートルネードポテト】活動報告

高一D 小久保聡太

今回、模擬店でトルネードポテトポテトを作らせていただきました。ガスや火を管理するのに注意していました。なんの問題もなく終えることができましたし、完売もできたのでよかったです。今回から電子決済のみということもあり、スムーズにできた気がします。ポテトを揚げる時間なども試作の時と同じようにできて安心しました。クラスの間も買い出しに行ってくれて担任の先生も手伝ってくださり、具材が足りなくなることなかったもので余裕をもって調理することができました。お客さんに料理を提供するまでにあたってチー

ムで声をかけ合いながら協力して進めることができました。やる前は不安でいっぱいでしたが、やっていくうちに楽しくやることができました。とてもいい経験になったと思います。

# 高二B模擬店活動報告

高二B 佐藤 史隆

私たちが模擬店をやるうと思った経緯は、高2が最後の文化祭になってしまうので、思い出として何か模擬店で販売したいなと思い、色々な候補の中からチュロスを選び、チュロスを販売しました。最初は、二郎系ラーメンや餃子などといったがつんとした系のほうが男らしくていいよねと話していたのですが、家族受けや女性受けなどを気にしてチュロスを選びました。チュロスは、他のものより楽で簡単だと思いい、直前まであまり買い出しなどの準備をしていませんでした。しかし、実際買い出しはとても大変で、チュロス700本分の、とてもでかい箱28個を買わなければいけなかったのです。それに、買いに行くことよりも大変なことがありました。それは、買ったものを管理する場所をどうするかということでした。

そのチュロスは冷凍保存しなきゃいけないものなので、でかい箱28箱全部、冷凍庫にいれないといけませんでした。生憎、僕の家ではでかい冷凍庫があったのでよかったです。生憎、僕の家ではあんまり無かったのでよかったです。協力をしたい、保存してました。買い出しがすべて終わったと思いい安心していたのですが、前日の夜にチュロスを入れる袋の存在を思い出し、どうしようと思いい焦っていたのですが、当日にクラスメートの一人が買いに行ってくれました。クラスのみんなが文化祭当日まで、模擬店に携わってくれたおかげで、二日間どちらも上手いき完売することができました。このようにみんなの力が合わさり一致団結して何かに取り組むということは、貴重な体験で、得たものは大きいと思いいました。

## 「黒歴史を刻め」活動報告

高二有志模擬店 高二E 川口 雄裕

文化祭の模擬店では、三年間ほとんど同じメンバーでラーメンを販売してきた。今年もその集大成として出店し、これまでの経験を生かして準備を進めた。スープはレトルトを使用したけど、麺のゆ

り、息の合った連携ができたと思う。模擬店を通して、協力の大切さと準備の重要さを改めて学ぶことができた。

で加減やトッピングの量などに工夫を加え、できるだけおいしく仕上げるよう心がけた。当日は、調理、盛り付け、会計を分担し、チームワークを活かしてスムーズに運営できた。昼時には行列ができるほど盛況で、お客様から「おいしい」と言ってもらえたときはとても嬉しかった。三年間同じ仲間と協力して活動してきたことで、信頼関係が深ま

# 高三でも出店 ― 漢の焦げ道 ―

高三有志模擬店 高三B 平野 晃士朗

出店願いの書類の締切の4日前に模擬店の数が足りないことを先生から授業中に聞き、この話を聞くまでは参加出来ることすら知らなかったし、聞いた後もクラスの皆の反応が良くなくやらないものだと思っていた。しかし、締切当日にやりたい人が声を掛けてくれて、自分はやりたいと思っていたので、急いで書類を提出した。7月にパンフレットに載る店の紹介文の締切があったので、照り焼きとベーコン&ベーコンを紹介してしまい、本番ははちみつとマルゲリータだったので、パンフレットに載っていないピザを売ることになってしまった。今年

が最後の文化祭なのでやるなら本気でということになって、辞退する人が10人くらい出てしまった。直前には5人くらいしかいなくて、大忙しであった。当日、思ったよりも煙が出て、周りの人に迷惑をかけてしまった。本当に申し訳ない気持ちでいっぱいだ。1日目は終盤に燃えカスが残ってしまい温度が上がらなかったが、2日目は反省を活かして常に温度が高く、早く提供できた。お客さんの評判も良く、学年の先生達も買ってくれて、無地に全て売れた。とても楽しく充実した2日間だった。

# 高等学校の部

## 後期生徒自治会活動報告

### ―動き出した歯車ギア―

生徒自治会会長 高二B 中村 琉生

生徒会の大きな目的は、「学校や社会を良くすること」です。そう考えると、目的を達成するための手段は要望書の提出に限らず、「後輩との引継ぎ」「社会貢献」などさまざまなものがあると気付き、今まで思いつかなかったような活動を始め、生徒会活動全体を革新していきます。

そのような「手段」の中で僕が第一に行ったことは後輩との引き継ぎです。卒業が近い僕は今後の南山を引張っていく高一の後輩と一緒に立候補したほか、中学執行校部との連携も行い、直接活動内容を伝授していきました。さらに、先輩方が残した資料を種類別に分け、後の生徒会が今まで何をしてきたのかが分かりやすいようにしました。また要望書の提出は、ただこちらの要望

を伝えるのではなく、まず予算の把握から始めました。南山生によって破壊された学校の備品の修理に大幅な予算が取られているということで、備品を大切に使うてもらおうと各クラスの議員に備品破壊の現状の写真を見せながらプレゼンしてもらいました。

高一高二で二度の会長経験を通して、苦い失敗も数多くしてきましたが、このように生徒会の在り方を再定義・構造化し、それを踏まえて幅広く活動していったことが僕の実績であると自負しています。最後に、改めて後期生徒会活動を支えて頂いた先生方や生徒会活動に関わってくれた皆さんへ心より感謝申し上げます。

(詳しくは通信News Flashに)

# 一 燈照隅

生徒自治会副会長 高一D 小澤 僚太

まずこの半年間、中学生の頃から尊敬する先輩と一緒に活動ができたこと、執行部の仲間、私たちに助けてくださった評議員の皆さん、そして私たちに對して真摯に向き合ってくくださった先生方へ心より感謝申し上げます。私達は今期の生徒会活動、具体的に、中学校生徒会執行部との連携強化、他校の生徒会との交流、本の寄贈の実施を通して、学びある貴重な経験ができました。

また、特に私の印象に残っている活動は、スプリングカーニバルです。今年度は、文化祭と同様に独立した実行委員会を立ち上げました。それにより、

イベントの事前準備から運営まで皆で協力して円滑かつ楽しく進めることができました。当日は、ブラスバンド部と奇術部の講堂での心躍るパフォーマンス、皆に目いっぱい楽しんでもらえるように準備したポッチャとリアルすごろく、丹精込めて作った昼食と合わせて、参加していただいた児童養護施設の子どもたちに喜んでもらうことができました。

以上のような生徒会活動を通して、私は他者のために尽くすことの喜びを再認識し、これからも積極的に自分にできることをしたいと思いました。

改めてこの半年間、本当にありがとうございました。

# 生徒会執行部での活動

生徒自治会書記 高一C 田中伸之輔

僕は友人からの誘いで生徒会執行部に入りました。

任期中は、暖房便座導入に向けた要望書の作成、他校との交流ミーティング、さらには児童養護施設の子供たちとの交流を図る「スプリングカーニバル」のボランティアなど、多岐にわたる業務に携わりました。また、書記として一つひとつの議事録をまとめる中で、執行部の業務量の多さと責任の重さを肌で感じました。特に、プレゼンや先生方との交渉を円滑に進める会長・副会長の姿には、大きな刺激を受けました。

今回、学内改善だけでなくスプリングカーニバルのような社会貢献活動にも携われたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。この半年間の活動を経て、今後は学校を盛り上げるだけでなく、生徒全員が社会の出来事にも広く関心を持てるような、より開かれた学校づくりに貢献していきたいと考えています。

# 初めての生徒会執行部

生徒自治会書記兼会計 高一A 持永 壮志

自分はこれまで生徒会では風紀厚生委員会や文化委員会、議員などのどちらかといえば生徒を引っ張る立場ではなく執行部を支える役割を大半してきましたが、今期は会長の中村先輩に誘われて生徒会執行部に入りました。そこで自分は暖房便座の要望書の原型や他校とのミーティング、児童養護施設の子と遊ぶためのスプリングカーニバルのボランティア活動、またそれらの活動やひとつひとつの議会の議事録をまとめたりしました。そこで学んだことは各委員会の委員長とは比べられないくらい執行部が大変だということです。これだ

けやることが多いのに会長と副会長はプレゼンや要望書をまとめ、先生との話もしていてすごいなと思いました。また特にスプリングカーニバルの実行が印象に残り、今までの活動は学校内の改善が多かったですがスプリングカーニバルの実行は社会貢献にもなっておりとてもよいものだと感じました。今回の活動を経てもっとこの学校をもっと盛り上げつつも生徒が学校外のことにも関心を持てるようになればいいなと思いました。

#### IV 聖園女学院高校とオンライン交流会 (2026年1月)

中学執行部と合同で、神奈川県にある南山の系列校の聖園女学院高校の生徒会と交流会を行いました。交流会を通して、彼女らの活動のスケールが自分たちとは大きく異なることに気づかされました。南山男子からは、本の寄贈活動などの社会貢献の取り組みについて紹介しましたが、聖園女学院は、アイスの自動販売機の設置だけでなく、世界最貧国の給食支援や生ごみ対策などの社会貢献活動にも積極的に取り組んでいました。大切なのは、こういった気づきを中学執行部と一緒に得ることで、これからどうしていくかを話し合うことができるということです。僕たちはすぐに卒業してしまいますが、中学執行部たちならここでの学びを実行に移してくれると思います。



#### V 淑徳高校と交流会 (2026年3月)

淑徳の生徒会と交流会を行いました。お互いの文化祭や生徒会活動について意見交換しました。交流会では、淑徳執行部が編集する機関誌を見せてもらいました。オシャレなイラストの施された機関誌には学校生活がアルバム風に閉じられていて、淑徳の一年が良くわかりました。生徒会関係者だけでなく全校生徒の様子が描かれていたため、南山もこれをやってみるといいかもしれません！



#### VI スプリングカーニバル実行委員会立ち上げ・開催 (2026年2~3月)

スプリングカーニバルは毎年恒例の生徒会が運営している、近隣の児童福祉施設の子どもたちと交流をする企画です。今までは執行部（昨年度は5人）で運営していましたが、今年は生徒の皆と一緒に作り上げたいこうと「スプリングカーニバル実行委員」を募集しました。驚くことに教室が一杯になるほどの有志が集まって和気藹々で、準備もはかどりました。当日ぱっと笑顔を咲かせた子どもたちの様子を見て達成感に包まれた実行委員たち。来年もまた楽しい企画にしてもらえると嬉しいです！また過去には南山女子の生徒や中京高校の生徒とスプリングカーニバルを開催していたので、三校合同開催で地域の連携を試みてほしいです！



#### 最後に

一代の生徒会ができることはせいぜい限られていますが、高一や中学執行部とも連携をし、のちの後輩へと活動内容を共有していくと、より大きいことが達成できます。また、学校だけでなく社会にも向けて、南山生として社会にどう貢献できるかを考え行動してきました。そして視野を広げるために、他校との交流も重視しました。このように人と人とのつながりの種を蒔いたので今後の生徒会にもぜひ生かしてほしいです。

代表 Lui×Ryota



## NANZAN SENIOR HIGH SCHOOL BOY'S DIVISION SEITOKAI NEWS-FLASH

こんにちは、後期生徒会長の中村琉生です。副会長の小澤君、書記の持永君、田中君と共に執行部が始まり、今月で早くも半年が経ちました。任期終了と聞いて執行部はほっと一息し、達成感で浸っています。多忙だった分いろいろやり遂げたことも多いので、ここで「あの公約どうなったん？」を紹介していきます。

### I セブンイレブンの自販機の設置 (2025年10月～11月)

セブンイレブンの自販機は、いつでもできたてのご飯が食べられればいいなと思って公約に掲げました。学校の図面を見ながら設置場所の候補を考え、説得力のある要望書を作成し、設置に向けて尽力しました。しかし、要望書提出間際に学校がすでに導入に向けて話を進めていると伝えられました。学校と生徒が同じ方向を向いていたようです。設置楽しみですね。

### II 温水便座増設 (2025年10月～11月)

この件に取り掛かり始めたころ、事務の人から「南山生によって壊された備品の修理に多く予算が割かれてしまい、この要望を実現するための予算がない」と伝えられました。そこで僕たち執行部は各クラスの議員にお願いして、備品破壊の実状を写真に撮りプレゼンをしてもらいました。温水便座の要望書を学校長に提出した際は、この活動が評価され、早速段階的に設置をしていくとのお返事を頂きました。

改めて、学校の備品は大切にしましょう！

### III 本の寄贈フリーマーケット開催 (2025年11月末～12月)

11月に本の回収ボックスにみんなが読まなくなった本を入れてもらい、集まった本でフリーマーケットを開き、欲しい人に無料で持って行ってもらいました。そして欲しい人の手に届かなかった本は、その後NPO法人に寄贈。こうして、学校内での寄贈の輪を社会にも広げました。学校から社会へと視野を広げることは、意味があったのではないかと思います。



# 風紀厚生委員長 活動報告

風紀厚生委員長 高二B 大西 康貴

後期の生徒会活動において、風紀厚生委員長として、学校生活の秩序や環境をより良いものにする事を目標に活動に取り組みました。まず、校内のマナーやルールへの意識を高めることを目的として、注意喚起のポスターを作成しました。生徒が日常生活の中で自然と目にするよう、掲示場所や内容の分かりやすさを意識しながら作成し、学校全体でマナーを守る意識が高まるよう努めました。

また、学校で実施された大掃除では、委員長として周囲に積極的に声をかけながら作業を進め、校内環境の維持と向上に努めました。日頃利用している校舎

を自分たちの手できれいにすることで、学校を大切に  
する気持ちを改めて実感することができました。さら  
に、校内で見つかった落とし物を一定期間展示し、持  
ち主が見つかるようにする取り組みも行いました。

この活動により、いくつかの落とし物を持ち主のも  
とへ返すことができ、生徒一人一人が物を大切に扱う  
意識を高めるきっかけになったと感じています。

これらの活動を通して、学校生活の環境や秩序を守  
ることの重要性を改めて学びました。今後も、学校全体  
がより良い環境のもとで安心して生活できるよう、責  
任を持つて主体的に行動していきたいと考えています。

# 後期高校文化委員会 活動報告

文化委員長 高二E 山田 光優

僕は、後期文化委員長を務めました。ここでは、後期文化委員会ではどのような活動を行ったのか報告しようと思います。

後期文化委員では、主に「大学入試を知る会」の主催に向けて活動しました。「大学入試を知る会」は、受験に対する多様な向き合い方や考え方を示すことで、生徒たちが自分自身の進路や学習方法について主体的に考えるきっかけを提供することを目指す目的とし、4名の教員を招き、パネルディスカッション形式でのインタビューを行いました。

この会は、単に合格体験記を語るのではなく、効果的な学習方法について成功談だけでなく失敗談

も交えながら進行了しました。特に、「(南山生においては特に)学校と距離を取るやつはたいいてい失敗する」という話や、「自分に都合のいい話しか受け取らなければ、うまくいかない」という話は個人的にとっても印象に残りました。

以上が後期文化委員で行った主な活動内容となり、講演会では非常に多くの有意義な情報を語っていたいただき、貴重な機会となりました。後期文化委員の活動を行うにあたって尽力して下さいました先生方、文化委員の子に感謝の気持ちを伝えたいです。短い文章ではありましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。

# 後期高校体育委員長 活動報告

体育委員長 高二B 近藤 拓海

後期体育委員として、体育祭やスポーツ大会の計画・準備・運営・片付けに取り組みました。週に一度のミーティングでは、競技内容の検討や役割分担の決定、当日の進行確認などを行い、全体を見ながら意見をまとめる役割を意識しました。意見が分かれた場面では、それぞれの考えを尊重しつつ調整を行い、全員が納得できる形を目指しました。準備段階では、作業の優先順位を考えながら周囲に声をかけ、効率よく進められるよう工夫しました。また当日は、進行の遅れや予想外のトラブル

にも落ち着いて対応し、周囲と連携しながら行事全体を支えました。その結果、大きな混乱なく行事を終えることができました。この経験を通して、周囲をまとめながら主体的に行動する力の大切さを学びました。

にも落ち着いて対応し、周囲と連携しながら行事

## 議会を通じて感じたこと

生徒自治会議長 高二C 坂井 翔

後期の議長を務める中で、私はリーダーとして組織をまとめることの難しさを痛感しました。それまでも何度か議員を経験しており議会の仕組みや流れは理解していたつもりでしたが、いざ議長という全体を統率する責任ある立場に立つと、自分一人の力では到底及ばないことばかりだと気づかされました。しかしそのような壁を乗り越える原動力となったのは、周囲の温かい支えでした。特に、生徒会長の話を他の議員たちが真摯に聞き、協力的な姿勢を示してくれたことが大きな助けとなりました。時には議会顧問の先生が不在となる場面もあり、運営に不安を感じることもありまし

たが、皆が主体的に参加してくれたおかげで、物事は停滞することなくスムーズに進行しました。こうした強固なチームワークの結果、セブナイレブンの自販機設置や淑徳との交流事業、さらにはスプリングカーニバルの運営といった多岐にわたるプロジェクトを形にすることができました。生徒会長や顧問の先生の多大なる協力もあり、例年以上のスピード感を持って議会を運営し、数多くの成果を残せたのではないかと自負しています。この経験を通じて周囲を信頼し、互いに協力し合うことで大きな目標を達成できるという、組織運営において最も大切な教訓を学ぶことができました。

# 中学校の部

## 前期生徒自治会活動報告

### 「姿」

僕は、中学校1年生の頃から5期連続、議会に参加しています。僕が生徒会長になった理由は、前でみんなを引っ張っている先輩たちを見て、「いつかこんな先輩みたいになってみたいな」と思うようになったからです。僕が見てきた先輩たちは、客観的な視点から、より良い南山男子部を目指していました。

今年の前期の活動として、僕たち中学執行部も、後輩たちから信頼されるような先輩になり、南山中学校の顔となるよう、日々努力してきました。例えば、生徒の意見を反映できるように「forms 目安箱」を開設しました。また、女子部との意見交流会開催や、図書室

生徒自治会会長 中三B 立野 瑛翔

の学習室開放、トイレに消臭剤を設置するなど、様々なことを達成しました。そして、先日行われた飛翔祭では、中学執行部からの出し物として、クイズスタンプリーの実施や、戦後80年企画で折り鶴をお客さんに折ってもらうようなこともしました。

このようなことが達成できたのは、執行部の5人が協力し、最後までやり遂げようとする力があったからです。ときには対立するときもありましたが、最終的に成功していきます。僕は、前期の執行部は生徒の代表としてあるべき姿だと感じました。これからも前期で学んだことを生かし、前へ進んでいこうと思います。

# 僕が学んだこと

生徒自治会副会長 中三D 早川 健

僕は前期に要望書の作成や飛翔祭のスタンプラリーなど、様々な活動に携わった。しかし、それらは一人で成し遂げたものではなく、周囲の仲間が協力があつてこそその成功だったと思う。前期の活動全体については他の仲間が発信しているので、僕は飛翔祭の「クイズスタンプラリー」について述べたい。

南山の魅力を小学生に広く伝える機会が少ないと感じ、執行部の仲間相談し、企画を立ち上げた。スタンプのデザインを美術科の水野先生の制作してもらい、本体は外部に発注。掲示物は文化祭実行委員と協力して制作した。当日は600名を超える来場者に参加していただき、大成功を収めた。

この企画を通して感じたのは、「生徒会の価値は形ある成果だけでなく、人とのつながりや協力の中にある」ということだ。先生方や実行委員、そして仲間が支えがあつたからこそ、成功に導けたと思う。

また、多くの来場者から「楽しかった」「南山に来たい」との声をいただき、生徒会活動が学校の魅力発信にもつながると実感した。

後期では、こうした経験を生かし、多くの生徒が関われる企画や南山全体を盛り上げる活動をした。前期で得た「協力」と「広い視野」を大切に、一層成長していきたい。

# 前期中学校生徒自治会書記 活動報告

生徒自治会書記 中三C 野平 淳晴

私は以前から学校をよりよくしていく仕事に興味を持っていた。そこで私は前期生徒自治会長・副会長選挙で当選した立野君・早川君に一生懸命に懇願して執行部にいれてもらい書記を務めることになった。私が彼らから任された仕事のうちのひとつが議会通信の制作だ。議会通信は議会ごとの活動内容を沢山の生徒に知ってもらうために、今期開設された生徒自治会webにて議事録のような形で発信した。どのくらいの生徒に情報が広まっていたかは未知数ではあるが、時折友人から議会通信を見たという話をされ嬉しかったのが今でも記憶に残っている。このようにして私は生徒自治

会や議会での活動をもっと知ってもらい多くの生徒に興味をもってもらうことに貢献した。その結果、かどわかには分からないが後期生徒自治会選挙では異例の五組の立候補があった。確実に以前より多くの生徒に活動に興味を持ってもらえたのではないかと感じている。私の活動が会長・副会長についてはともに活動した執行部のメンバーの期待値を上回れたかは定かではないが、活動内容を沢山の生徒に知ってもらうという仕事は全うできたと感じている。

# 書記兼会計活動報告

生徒自治会書記兼会計 中三D 磯部 誠志郎

私は前期生徒自治会執行部書記兼会計として活動を行いました。

書記としては、議会や執行部の打ち合わせなどで議事録をとり、会計としては、作成している要望書に記載する費用を算出するなどの仕事をしました。

また、この他に学校に提出する要望も手がけました。トイレへの消臭剤の設置です。これまでトイレの臭いが抑えきれなかったため、消臭剤を置くこうということになったのです。先生方にはとても深い理解を示していただき設置が叶い、臭いはかなり抑えられました。

しかし、消臭ビーズをトイレの便器に入れるような生徒がおり、消臭剤は撤去されました。非常に残念でなりません。

さて悲しい話はこのまでとし、飛翔祭で執行部を中心に行われた「クイズスタンプラリー」と「戦後八十年折鶴」も大きな活動の一つです。

物品の買い出しや当日の受付、係員へのオリエンテーションを行い、事態を想定する難しさ、伝える難しさを学びました。他の執行部に頼るところも大きかったです。すがとても楽しく準備できました。参加者の皆様にも楽しんでいただけたと思います。

初めて生徒自治会で働いて分からないことも多々ありましたが、親身になってくれた先生方や飛翔祭で手伝ってくれた議員の方々、そして執行部のメンバーに感謝しています。

以上をもって、活動報告とさせていただきます。

# 戦後80年羽ばたけ、平和へ。

生徒自治会庶務 中三A 河野 凜人

僕は生徒会の企画の戦後80年羽ばたけ、平和へ。をしました。主にこの企画のすることは戦争などで傷ついてしまった方達に向けて折り鶴を折り、僕たち中学三年生の行事である「旅」に持っていき原爆の被災者の方達に僕たちの想いを伝えるという事です。文化祭という華々しい中で折り鶴を折るってやはり気が向かないと思う方も多くいたと思います。戦争で傷ついてしまった人のことを考えて自ら折り鶴をずっと折っていた方もいました。他にも色々な先生や南山生それ以外の外部の方達も自ら折り鶴を折りこの企画が素晴らしいものになったと思います。僕は生徒会執行部に入っ

たおかげでこのような企画と出会うことができました。執行部の仲間達がいつも僕のことを引っ張ってくれて自分の入ったことのない新しい世界に入ることができました。これは自分のおかげではなく、普段支えてくれていた自分の家族、学校生活をともにしている仲間達、執行部の仲間や先生方のおかげだと思えます。これを自分の糧にしてこれからの学校生活に活かし楽しんでいきたいと思えます。

# 前期総括

風紀厚生委員長 中三C 伊藤 悠

まず活動報告について。前期、風紀厚生委員会はポスター制作を行った。内容としては、主に中庭や校門付近の規則についてのものであった。校門付近では、横断歩道が近くにあるにもかかわらず堂々と道路を横断する生徒や教師が多くみられた。この行為は本校の印象を悪化させるだけでなく、交通事故までも起こしかねない危険行為であり、早急な改善が必要だった。

次に反省点について。委員会や議会などの進め方については各人各様にあると思うが、私は委員同士での議論を重視した。しかし、議論偏重となってしまうため、委員会の活動は遅々として進ま

ず、一人一枚のポスター制作のみとなってしまった。前期議会のように一部のみに決定するのは問題だが、ただ意見を聞くだけでは組織として行動することが難しくなってしまうのだ。

最後に、生徒会で活動しようとする人たちへ。大きなことを成し遂げるには、小さな目立たない行動が不可欠だ。南山の私服化は教師との信頼関係があったため成功したのだ。そのような条件を無視した冒険主義的な行動が成功することはないだろう。一歩ずつ確実に前進することを大切にしてほしい。

# 文化委員活動報告

文化委員長 中三E 橋本 悠 杜

前期文化委員会は他行との交流会を目指し、その第一歩として今回は、中三4人と中一2人でそれぞれ滝中学校の文化祭に行き、「校舎の雰囲気の違い」や「クラス・部活・有志の展示」、「模擬店」など様々なことを調べて新聞にまとめた。以下の文はそこでとったメモを一部抜粋したものである。

- ・ 駅から学校までバスが通ってる
- ・ 滝の文化祭は「長月祭」と呼ばれている
- ・ 模擬店は完全予約制
- ・ 鉄道研究会の模型は賞を取っている(有志)
- ・ 文芸部では、黒板に来客者が自由に物語を書くことができ、鉄道研究会では、模型を運転できるな

ど、部活・有志展示にも様々な工夫がされていた。おぼけ屋敷が許可されている。  
 ・ 楽しむ系だけでなく、戦争のことを考えさせられる展示もあった。

今回、委員長が初めてだったということもあって、うまく仕事ができなかったもので、後期も委員長をやることができれば、前期の反省を生かしていきたい。今回は文化祭の有志展示の関係者や、部活の関係などで、活動に参加できなかった人もいた中で、残りのメンバーで遠くの滝まで行き、新聞を作れてよかったと思う。一人でも多くの人に新聞を見てもらえると嬉しく思う。

# 全力スマイルで頑張った体育祭

体育委員長 中三E 柿崎 陸玖

今年の体育祭は、体育委員長として全校のみんなが楽しめるように頑張りました。準備のときから体育委員のみんなと協力して、道具を運んだり

育委員の皆さんのおかげで体育祭を成功させることができました。来年の後輩たちにも、この全力のバトンをつないでほしいです。

進行の練習をしたりと、けっこう大変だったけど、その分やりがいも大きかったです。当日は暑く、思いがけないトラブルもありましたが、クラスみんなが全力で走ったり応援したりしている姿を見て、とても胸が熱くなりました。真剣さの中に笑いもあって、まさに「男子校の体育祭」という感じでした。この経験を通して、みんなで作る行事の楽しさと大切さを実感しました。体育祭の運営を協力してくださった先生方や一緒に盛り上げてくれた体

## 前期中学議長 活動報告

生徒自治会議長 中三B 根崎 奏良

僕は中学の議会を半年間務めて強く感じたのは生徒会の熱気です。各々が真面目に話を聞いたり、人をまとめたり、意見を述べているところを見ると僕は生徒会に参加している人の仕事への熱心さがとてつもないと思いました。特に印象的だった

でそんな議会に参加できていることに誇りを感じています。来期になる副会長ではもっと頑張りたいです！ありがとうございます！

のは前期生徒会長です。生徒会長は生徒会に半年前に初めて入ったときわざわざ議長の進行を示してあるプリントを僕のために作ってくれビックリしました。また彼が話すことにはなぜか惹かれこれがかリスマ力かとしみじみと感じました。そして彼のように僕も活動したいと思うようになりました。生徒会に参加してる人はみんな議題に熱心

# 中学校の部

## 後期生徒自治会活動報告

### 「形」

僕は、前期に引き続き、2期連続で会長をやらせていただきました。後期では、生徒の代表としてあるべき姿であり、かつ僕たちがやってきたことを後世にまで受け継いでもらうということを決めて活動してきました。

生徒自治会はただ単に、要望書を提出する機関ではなく、社会にも目を向けてみることも大切なことではないかなど思いました。主に、名古屋市内の学校の生徒会の方々や、南山学園である聖園女学院との交流会なども実施しました。そのような中で、僕たちの活動との共通点や新しい発見なども気づくことができました。それを踏まえて、後期では「グラウンドのナイトライトの設置」と「学習室の開放」について、議員も含め懸命に意見を出し合い、議会を進めていきました。ナイトライトの設置に関しては、かなり難

生徒自治会会長 中三B 立野 瑛翔

しい議題ですが、全校生徒にアンケート調査をするなど、最後まであきらめない姿勢を執行部は見せたと思います。

1年間生徒自治会に所属していて、僕たちを見て興味を持つってくれる子たちが増えてくれたらとても嬉しく思います。僕からの最後の要望は、僕たちが歩いてきた道を次の代、さらに次の代まで最後まで諦めず歩き続けてほしいなと思います。そうすれば、いつか公約達成の日となり、何年も挑戦して1つの形となります。

そして、今まで僕たちを支えていただいた先生方や生徒の皆さん、本当にありがとうございました。特に、執行部のメンバーは一生忘れない経験をさせてくれてありがとう。最後になりますが、次年度の生徒自治会の皆さんのことも応援しています。1年間ありがとうございました。

# 後期中学生徒自治会副会長 活動報告

生徒自治会副会長 中三B 根崎 奏良

僕は前期議会の終了時にありがたいことに声を

かけられて共に選挙に出ることになりました。最

初のうちは、僕なんかが選挙に出たら足を引っ張っ

てしまうのではないかなどといった不安で緊張し

ていましたが、一緒に選挙の宣伝をしたり、会議を

する過程で自信がつき、何とか選挙に勝つことが

できました。

僕は主にナイトライトに関する仕事を生徒会で

はしていました。校内アンケートをとったり、要望

書を書いたりしました。大変だったのはやはり700

人分ほどのアンケートを集計したり、要望書のデー

タ集めなどでした。

それを解決するために書記の子が作ったアプリ

みたいなもので集計したり、実際にナイトライト

を見に行ったりしました。これらの仕事は大変で

したが同時に楽しさもありました！

僕はこの半年で生徒会の皆に沢山迷惑をかけて

しまい、後悔の残る半年になりましたが、生徒会で

沢山の経験を積めたことは僕の一生に残る半年に

なっただと思います！

# 後期中学生徒自治会書記 活動報告

生徒自治会書記 中三B 木下 莉仁

僕にとって今回の生徒自治会での活動は、すべてが初めての挑戦でした。右も左も分からない僕を支えてくれたのは、前期から活動を継続している経験豊富なメンバーたちです。5人中3人が継続メンバーという心強い環境のおかげで、効率的に活動を進めることができました。僕の主な役割は、議会や他校との交流会における議事録作成でした。作成にあたっては、無駄な記述を省き、要点を整理して後から見返しやすい構成にすることに注力しました。活動の中で最も印象に残っているのは「授業改革フェスティバル」です。他校の多様

な生徒会活動を肌で感じたことで、自分たちの学校をより良くするための新たな視点を得ることができ、大きな刺激を受けました。この経験を糧に、今後も学校生活に貢献していきたいです。

# 後期中学生徒自治会書記兼会計 活動報告

生徒自治会書記兼会計 中三D 磯部 誠志郎

前期に続き後期中学生徒自治会執行部でも書記兼会計を務めさせていただきました。

今期の主な活動は他校生徒会交流会の記録と要望書の校閲を担当しました。

今期は前期に比べ交流会が多く、私学フェスティバルでの生徒自治会の活動発表もありました。私たちの仕事を伝えることができ、そして他校の取り組みも知ることができました。交流会で得たことを生かしてきましたが、半年の期間では生かすにも生かせずもつたいないと感じています。

また今期執行部は三件の要望書に取り組みました。要望書作成の時には、絶対的な意志と意識を持って臨んでいます。私は、人のいかなる活動でも意志と意識は最も重要なものと考えており、そしてそれを人に伝え

ることで人の意志や意識を変えられると考えています。これを書いている今、次年度執行部のための引継ぎ文書を作成しています。生徒会交流会、要望書、その他の活動への私たちの意志と意識をしっかりと書き留め、引き継いでもらおうと考えています。

前期後期と一年間執行部として活動してきて、まだまだやり切れていないことや未解決の問題もあります。が、次の生徒自治会に託したいと思います。

最後に、支えてくれた教職員の皆様、私たちの活動に真剣に向き合ってくれた議員の方々、我々を信任してくれた生徒の皆さん、そして何より、一緒に活動してきた執行部のメンバー全員にこの場を借りて感謝を伝えさせていただきます。

以上をもって、活動報告とさせていただきます。

# 軌跡

生徒自治会庶務 中三D 早川 健

僕は1年間執行部のメンバーとして活動してきました。後期は生徒自治会Web等、前期の良い点は引継ぎ、他委員会や高校組織との連携など、改善できるところは改善しました。

僕が後期の活動を通して大切にしてきたのは、自分たちの意見に執着せずに、幅広く意見を集めることです。南山学園内外の学校と意見交流会を行い、社会貢献活動の重要性を感じ、高校執行部主催のスプリングカーニバルの場を借りて児童養護施設の方々を招きクイズ大会を実施しました。

さて、南山の我々の組織は「生徒会」ではなく「生徒自治会」です。前期から引き続き、消臭剤の設置や図書館奥の学習室開放といった実証実験の継続にも取り組みました。単に要望をするだけでなく、要望する立場

として、直面した問題点をどう改善するか自分たちの頭で考え、泥臭く手順を追って行動する過程こそが本当の「自治」であると感じました。

今年度、最も大切だと感じたのは「丁寧に手順を踏むこと」です。今期は屋外施設のライト設置など、難易度の高い議題も多く扱ってきましたが、目先の目標達成に向けてがむしゃらに動くだけでなく、私たちの代々の歩みが次の代への「軌跡」となるよう、丁寧に積み上げることも重要だと思いました。後輩たちの活躍を切に願っています。

最後に、ご指導いただいた先生方、そして共に走り抜けた執行部の仲間たちに、心から感謝申し上げます。周りの仲間と切磋琢磨してあきらめずに目標を追い続けたこの経験は、本当に人生の宝物です。

## 後期総括

風紀厚生委員長 中三C 伊藤 悠

後期風紀厚生委員会は風紀厚生活動とペーパーレス化活動を行いました。

まず、風紀厚生活動についてです。授業中の私語とゴミの分別やポイ捨てが中学全体に共通する問題として挙げられたため、今までも行われてきたポスター制作に加えて放送を行いました。放送では目下の問題を解決することが信頼回復や自販機増設などの利益につながる可能性を示しました。

次にペーパーレス化活動についてです。現在男子部では大量のプリントが使用されているため、管理が困難なものとなっています。そのため、ペー

パーレス化を行い、一部のプリントをteamsでの配信という形にして生徒の負担を減らす事を目指しました。

続いて反省点についてです。反省点は議論前に十分な検討時間を取れなかつた点です。個々人が熟慮しなければ公の利益よりも活動の手軽さという特殊意志を優先した議論となる危険があります。そのような議論の結論は特殊意志の総和である全体意志に過ぎず、これは誤っている可能性があります。ですから生徒会活動を行う人は十分な検討時間を取れているか注意してください。

# 後期中学校文化委員会 活動報告

文化委員長 中三E 橋本 悠杜

後期は友達を何人か文化委員会に誘い、前期に引き続き文化委員長をやりました。

せるかについてしっかりと話し合い、解決に導いていってほしいと思います。

前期とメンバーは異なるものの支えてくれる仲間のおかげで、4階に自販機の設置や一部行事でのスマホの自由化の件についてスムーズに話し合うことができました。

試験勉強や家の事情で仕事が大幅に遅れてしまい、要望書を提出することができなかったのですが、高校でも文化委員会になることができれば、もともと早く仕事をやるようにしたいと思いました。

次の代でも、今の課題であるルールをどう守ら

## 体育委員長として

体育委員長 中三E 柿崎 陸玖

前期・後期を通して体育委員長を務め、球技大会では主に計画や運営に関わる活動を行いました。

クラス内で出場競技の決定やメンバー分けを行い、できるだけ全員が参加できるように工夫しました。また、当日の進行がスムーズに進むように、試合の流れやルールを事前に確認し、クラスのみならず、みんなに分かりやすく伝えました。

当日は、試合の進行補助や得点の確認、用具の準備・片付けなどを担当し、トラブルが起きた際には周囲と協力して対応しました。

委員長として全体を見ながら行動することを意

識し、円滑な運営に努めたことで、大きな混乱もなく球技大会を終えることができました。

今回の経験をを通して、責任をもって行動することの大切さを実感したので、今後の学校行事でもこの経験を生かして積極的に取り組んでいきたいと思っています。

# 責任感の大切さ

生徒自治会議長 中三B 本郷 智久

僕は後期議長を務めるなかで責任と向き合うことになった。僕は「責任感」という言葉が嫌いで、逃げてきた。そのため、生徒会長や議長、副議長という重大な役職にはなりたがらなかった。しかし、中三前期の議会で同じクラスの友達が議長になってからは一変、彼が楽しそうに、誇らしそうにやっているのを見て僕は憧れてしまったのである。それで議長になれたのだが、決して楽ではなかった。議員の皆をまとめることの難しさ、その責任の重さを知った。最初は議会の進行や生徒の前で話すことにある程度経験があったとしても緊張はする。

議員が全員静かに話を聞いてくれる訳でも無い。それでも議会を整える必要がある。それで休みたいと思えるほどのプレッシャーを感じることもあった。しかし、生徒会メンバーや副議長が支えてくれ、僕は無事自分の職務を全うすることができたのである。

この経験を通して責任を持つことの大切さを学べた。これは社会に出ていったら必要なこと。でも簡単な思いでは持てないが、それから逃げずにやり遂げることで、自分を成長させることができた。



の恐怖は、今でも胸に刻まれています。2日目、3日目に関しては、沖縄平和祈念公園やひめゆりの塔、首里城などで沖縄の歴史を学んだり、コザ町や国際通などで、沖縄の現在を学びました。4日目はマリン体験やタクシー研修、エイサー体験を行い、5日目に名残惜しくも名古屋へと戻りました。

そしていよいよ高3になった訳ですが、高3は文化祭も任意だったりする事もあり、体育祭以外に特に大きなイベントもなく、今に至ります。(私個人は、南山学園系列の文化祭を全制覇していましたが)

とまあ、このように6年間を振り返って見ましたが、中学1、2年時の、コロナ禍における行事の中止が、今でも悔やまれます。

このような事態が、再び生じる事が無いことを願って、この文の締めとさせていただきます。

何年後かに、この文章を読んだ方が、「ああ、この世代はこんな事あったんだ。」というように思ってもらったら幸いです。

ご精読、ありがとうございました。

そんな私達が高校2年(2024年度)に上がってからは、いよいよ飛翔祭における、事実上の最上学年として、部活、有志企画では企画の中心として活躍し、クラス企画では、これまでの集大成として全力を尽くしました。もちろん、万事異常無しとは言い難い点が存在した事は事実ですが、それを差し引いても、成功に終わったと胸を張っていうことができる飛翔祭にできたと思っています。

そして、2月の修学旅行…となるのですが、その前に、クリスマスに行われるイタリア・キリスト教文化研修旅行を忘れてはいけません。

この年のイタリア研修では、ローマ3泊、フィレンツェ2泊、ミラノ1泊と辿り、特にローマでは、ヴァチカン市国のサン・ピエトロ広場にて、第266代教皇である、フランシスコ教皇からのクリスマスメッセージを聞くことができました。

その後は、アッシジやウフィツィ美術館、ピサの斜塔などを巡り、日本へ帰国しました。

なお、フランシスコ教皇は、2025年4月にご逝去されており、この時のイタリア研修が、フランシスコ教皇のメッセージを聞くことができた最後のイタリア研修となりました。

そして、いよいよ2月の修学旅行ですが、私達の学年は例年より1日多い、4泊5日となりました。(中1、中2で宿泊行事が無かった為、代わりに1日増やしたと聞いています)

初日の集合で、遅刻した生徒が出たりしつつも、無事に到着した我々は、アブチラガマへ行った後、アメリカンビレッジへと行きました。アブチラガマの中で、全員が一斉に照明を消した時のあの暗さ、当時生きていたとして、自分はこの中で何ヶ月も耐えられるだろうか、と考えた時

ぶりに現地開催ができたこと、特に部活、有志に関しては、コロナ前を知る先輩から、文化祭でのノウハウを引き継ぐことができたことは、とても大きな意味があったと思います。

そんな私達も高校に上がり、ちょうどコロナが収束したタイミングというもあり、ここから後の学校行事に関しては、概ねコロナ前と同様に行うことができたと思います。具体的には飛翔祭の入場制限の撤廃、イタリア・キリスト教文化研修旅行などが復活しました。記憶が正しければ、当時の中3（現在の高2）は、NZタームにも行けていたはずですが、私たちの学年も、先生方は実施しようとしてくださっていたようですが、残念ながら実施する事はできませんでした。

話を戻して、南山入学から4年目にして、初めて制限の無い飛翔祭となり、前年度よりも活気に溢れた飛翔祭になったように記憶しています。特に、文化祭の醍醐味の1つとも言える（※個人の感想です）、模擬店が復活し、飛翔祭の盛り上がりには華を添えていたと思います。特に模擬店は、コロナ前の運営・企画を知る先輩方が卒業済であった為、コロナ禍前に模擬店のスタッフとして参加していた、当時在学中の先輩方（現・大1、2年）や、担当の先生方と共に、無事に盛況となりました。

その一方で、この年度の飛翔祭は、インフルエンザの流行により飛翔祭直前、期間中に学級閉鎖が相次ぎ、私のいたクラス含めて計5、6クラスほどが学級閉鎖となったように記憶しております。（かくいう私自身も、初日で体調不良で早退した後にインフルエンザと判明しました）

ただ、この事象は何も男子部に限った話ではなく、当時は、女子部をはじめとした他校の文化祭においても、学級閉鎖、学年閉鎖等が相次いで発生していたと聞いています。

授業、第1回定期考査の中止、夏休みの短縮（お盆のみ）と、これまでの遅れを取り戻すために、授業日数が増えました。この辺の柔軟さは、私立ならではの感があります。

一方、学校行事に関しても、他学年と比較して、大幅な変更がありました。というよりは複数の行事が中止になりました。

具体的には、中1の山の生活、中2のスキー訓練、中1、中2の合唱祭が中止となり、東山動物園での写生大会と、飛翔祭、あと中3の合唱祭しか、学校行事が無いという事になりました。

ただ、中2のスキー訓練に関しては、その代替として、日帰りでリトルワールドに行ってきました。その途中で多治見修道院にも寄り、先人への黙祷を行いました。

中3の旅（修学旅行）では、2泊3日で広島原爆ドームから、厳島神社、神戸の中華街を経て、大阪のUSJへと行きました。原爆ドームやその周辺、原爆資料館で見た事、物は、今でも脳裏に焼き付いています。旅での思い出と言え、初日のホテルでは、学年主任による、室内スリッパで食事場所まで来た生徒への温かいご指導の事が、2日目のホテルでは、夕食にフルコースが出て、突然、テーブルマナーが試される事となり、少し慌てた事が、個人的には今でも思い出となっています。

また、2020年度、2021年度の飛翔祭に関しては、オンライン文化祭という形での開催となり、例年と比較して規模が縮小されながらも、ユニークなものとなりました。

2022年度飛翔祭に関しては、現地開催となったものの、コロナ禍という事もあり、入場制限により、親族、友人合わせて5人か10人までしか招待できないという形にはなりました。が、制限ありとは言えども、約3年

## 自由投稿

### 南窓寄稿

高三A 吉田 龍太

皆様、はじめまして。又はお久しぶりです。

この度、私達の学年が卒業するにあたって、入学してからの6年間を、ここで個人的に振り返ってみたいと思います。

2020年4月、私達は南山中学校男子部に入学しました。が、残念ながら、新たな仲間達と共に授業を受ける事ができたのは、6月に入ってからでした。というのも、皆様をご存知の通り2020年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、緊急事態宣言が発令されており、その影響で学校が休みになっていたからです。当時の私は、中学での新たな人間関係に期待を膨らませつつも、小学校時代の同級生に、きちんと別れと感謝を伝えることができなかつた事への悔しさ、感染症への恐怖、そして人間関係への若干の不安等を胸に秘め、とても複雑な心境であった事を記憶しています。

さて、そんな学校閉鎖期間が終わり、いざ学校が始まっても、すぐに同級生全員と顔を合わせる事は叶わず。というのも、週毎に奇数番、偶数番を入れ替えて登校していましたので、その間は、1週間学校に行き、同級生の半数と共に授業を受け、次の1週間は休みという形態を1ヶ月ほど経た後に、やっと同級生全員と顔を合わせる事が叶いました。

学校で全員が揃って登校するようになってからも、私達は土曜の午前

この経験を通して、声の出し方や表現力を学ぶことができ、これらの技能はその後の英語コンテストや生徒会選挙のスピーチに役立ちました。ほか、明確な目標と共に切磋琢磨できる仲間が存在がいかに心の支えとなるかを学びました。舞台パートをはじめ、実行委員の皆さんお疲れさまでした。Got Talentは、こうした学びや気づきを与えてくれました。今後も続いていってほしいです。

## 自由投稿

# 人生初のボーカル体験

高二B 中村 琉生

僕は、小林君と Got Talent の企画として、「Two Direction」 by Ryota & Lui を結成しました。バンドの結成は、彼と NZ 留学していた際に、「文化祭で洋楽を一緒に歌おう！」と言ったのがきっかけでした。バンド名には、普段はそれぞれ違う道を歩んでいても、音楽を通して一つになれる—そんな願いを込めました。歌は、One Direction と BTS の曲にしました。

ボイトレをする前までは自分の英語力を武器に、洋楽もすぐに歌えると思っていました。しかし、いざボイトレに通い始めると、音量をはじめとする多くの課題に直面しました。音量を上げるためには、単に声を張り上げるのではなく、共鳴や姿勢などの技術を身に付ける必要がありました。同時に、リズム感も課題になり、当時は曲のリズムを掴むために何回も曲を聞いていました。しかし、今思えば楽譜を見て休符と音符の配置を確認するのがより手っ取り早い方法でした。この間にご指導くださった先生、小林君、そして辛いときに心の支えとなってくれた大切な人には大変感謝しています。

迎えた発表当日、たくさんの観客に楽しんでもらうために、歌いながらステージを駆け抜けたり、歌に合わせてダンスをしたりしました。舞台が終わった瞬間、小林君と共に大きな達成感を味わいました。

幸せなことだと気づきました。これからは、旅という行事で学んだことを忘れることなく、戦争のない未来について考え続けたいと思います。

## 自由投稿

# 広島と長崎を訪れて

中三B 谷口 慶和

僕は広島と長崎に旅という行事で訪れました。

どちらの町も昔、原子爆弾が落とされた場所です。写真や映像で見たことはありましたが、実際にその場所に立ってみると感じ方は全く違いました。

広島では、原爆ドームを見ました。建物は壊れたまま残っていて戦争や原爆のおそろしさを今に伝えていました。資料館では、当時の人々の暮らしや被害の様子を知り、とても脳が苦しくなりました。

普通の毎日がこの原爆という爆弾で一瞬で奪われたことを思うと、戦争は絶対にしてはいけない、核兵器は決して使ってはいけないと強く感じました。

長崎では、長崎原爆資料館を見学しました。展示されていた写真や遺品から、たくさんの命が失われたことを改めて実感しました。とくに長崎原爆資料館で心に残ったのは被害者の方の言葉が紹介されていて「平和の大切さを伝えてほしい」という思いが心に残りました。

今回の旅という行事を通して平和は当たり前ではないことを学びました。旅の中で僕の顧問が起こしたハプニングについて友達と笑い合ったり、学校で勉強をして、僕が大好きなラグビーをしたり、家族と過ごせたりすることは、今の時代であるからそこできることであってとても

南 窓 六十四号

編集 高校 山田光優 中学 橋本悠杜

文化委員会

題字 石田泉城

発行者 南山<sup>高等</sup>中学校男子部生徒自治会

発行日 二〇二六年五月二十九日

発行所 (〒四六六一〇八三八)名古屋市中区和区五軒家町六

TEL(〇五二)八三一六四五

印刷 名古屋市千種区千種二一―二八

株式会社ウエルオン